
KDDI Smart Mobile Safety Manager

Android クライアント

リファレンスマニュアル

最終更新日 2024 年 2 月 21 日

Document ver.1.15

(Web サイト ver.9.18.0)

変更履歴

日付	ver	変更箇所	変更内容
2018/12/13	1.0		新規作成
2019/4/25	1.1	11 App Manager の使用	注意に関連アプリを追加
2019/12/5	1.2	1.2 エージェントの種類	最新に更新
		15 NFC キットティング	対応端末の修正
		22 管理外通知画面	注意の修正
		25 +browser Safety Manager の表示	注意追加
		26.7 端末情報の送信を停止する	セクション追加
2020/6/18	1.3	全体	機器を端末に修正
		1.4 エージェントの動作環境	注記追加
		7 ユーザーの登録	注意からデバイスマネジメントパックを削除
2021/2/21	1.4	1.2 エージェントの種類	対応 OS バージョン変更
		1.3 OS サポートポリシー	サポート対象を最新に更新
		1.4 エージェントの動作環境	対象 OS、本体メモリ変更
		1.5 ウイルス対策機能動作環境	
		1.6 +browser Safety Manager 動作環境	
		25.4 設定画面	最新の画面に差し替え セキュリティの不要設定項目を削除
		25.1 インストールする	ユーザーデータ確認画面追加 プライバシーポリシー画面、設定画面を最新に差し替え
		14.2 位置情報の権限を「常に許可」に設定する（Android 10 以上）	セクション追加
		5 スクリーンロックパスワードポリシーを満たしていない	「5.3 スクリーンロックポリシー設定に関するエージェントの仕様」のセクション削除に伴い、注意の追加
		2.4 位置情報アクセスポリシーを表示する	位置情報アクセスポリシーについて追加
		3.1 スクリーンロックパスワードの設定を行う	注意修正
26 ウイルス対策機能	注意追加		
4.1 スクリーンロックパスワードが変更された場合	パスワード変更の事前設定の記載を変更		
2021/7/25	1.5	1.2 エージェントの種類	G Suite を Google Workspace（旧 G Suite）に変更
2022/2/20	1.6	7.1 ユーザーの登録を行う	注記追加
		25.1 インストールする	注記 2 つと画像追加
		25 +browser Safety Manager の表示	注意に文章追加
		4.1 スクリーンロックパスワード	メッセージが最新の画像に差し替え

日付	ver	変更箇所	変更内容
		が変更された場合	注記追加
		1.2 エージェントの種類	従来版入手方法を修正
		1.3 OS サポートポリシー	サポート対象例を更新
			注記削除
		1.4 エージェントの動作環境	対象 OS を更新
		1.5 ウイルス対策機能動作環境	対象 OS を更新
		1.6 +browser Safety Manager 動作環境	対象 OS を更新
		14.2 位置情報の権限を「常に許可」に設定する (Andoroid 10 以上)	注記追加
		全体	以降を以上に修正
		20 Android 端末の暗号化	注意修正
		24 +Setting Safety Manager の表示	注意修正
		25 +browser Safety Manager の表示	見出し文修正
		26 ウイルス対策機能	注意修正
2022/6/12	1.7	16 認証情報修復機能	セクション追加
		29 その他	セクション追加
		8.1 機器情報の登録を行う	画像に認証情報修復機能を追加
		9.1 プロキシ設定を追加する	
		9.2 プロキシ設定を編集する	
		9.3 プロキシ設定を削除する	
		10.2 未開封メッセージを確認する	
		10.3 メッセージ履歴を確認する	
		13.1 ソフトウェアが使用するライブラリ名を表示する	
		14.1 権限設定を行う	
		15.1 NFC キットティングを行う	
		26.4 手動で検索を行う	
		14.1 権限設定を行う	注記追加
		14.3 付近のデバイス権限を「許可」に設定する (Andoroid 12 以上)	セクション追加
		26 ウイルス対策機能	注意にポップアップについて記載追加
		1.4 エージェントの動作環境	参照先のハイパーリンクを削除、修正
		1.5 ウイルス対策機能動作環境	
		1.6 +browser Safety Manager 動作環境	
2022/7/24	1.8	全体	Google Play の表記を Google Play ストアに統一

日付	ver	変更箇所	変更内容	
		1.4 エージェントの動作環境	ネットワーク接続を更新	
		23.1 リモートロックの解除コードの場合	参考を追加	
2022/11/20	1.9	はじめに	全改修	
		1.3 OS サポートポリシー	サポート対象変更	
		1.4 エージェントの動作環境	対象 OS 変更	
		1.2 エージェントの種類	従来版ベストエフォート期間終了に伴う注意など追加、変更	
		1.4 エージェントの動作環境		
		1.5 ウイルス対策機能動作環境		
		1.6 +browser Safety Manager 動作環境		
		2.2.2 メニュー画面の見かた		
		2.3 Android 端末に最新の設定を反映させる		
		11 App Manager の使用		
		18.1.2 従来版エージェント		
		19 アプリケーションの配信		
		22 管理外通知画面		
		25.6 アンインストールする		
		26.8 アンインストールする		
		2.2.2 メニュー画面の見かた		メニューボタンの説明追加
		5 スクリーンロックパスワードポリシーを満たしていない		挙動差異の注意削除
		14.1 権限設定を行う	Android 13 以上かつエージェントバージョン 9.16.0 以上の権限要求の画面追加	
		15 NFC キットティング	サポート対象外の参考追加	
		1.6 エージェントが収集する情報	ネットワークに 4G/LTE、5G 追加	
		2.4 位置情報アクセスポリシーを表示する	手順変更、統一	
		3.1 スクリーンロックパスワードの設定を行う		
		16.1 認証情報を修復する		
2023/3/26	1.10	1.5 ウイルス対策機能動作環境	対象 OS を変更	
		1.6 エージェントが収集する情報	カテゴリ項目に「SIM 情報」を追加	
		26 ウイルス対策機能	注意を追加	
		1.6 +browser Safety Manager 動作環境	対象 OS を変更	
		25.5 通知権限を許可する (Android 13 以上)	セクション追加	
2023/6/29	1.11	1.5 ウイルス対策機能動作環境	対象 OS を修正	
		26 ウイルス対策機能	Android 13 に関連する記載を追加	
		26.2 メイン画面を表示する	手順【1】に画像、注記、補足を追加	

日付	ver	変更箇所	変更内容
2023/8/6	1.12	全体	目次の構成変更 (旧 G Suite) の記載を削除
		はじめに	名称・呼称、用語集を追加 商標登録修正
		1.3 OS サポートポリシー	Android 8.x のベストエフォート期間を削除
		2.2 メニュー画面の表示内容	現在のゾーンを追加
2024/1/14	1.13	全体	規約に従い、表記揺れなど統一
		4.1 パスワードポリシーが変更された場合	「パスワードポリシーの変更を行わなかった時の対応」の手順を変更
		2.4 位置情報アクセスポリシーを確認する	見出し、リード文、手順を変更
		2.7 ライセンス解除／アンインストール (従来版エージェント)	ストア版エージェントの注記を削除して、従来版終了の注記を追加
		2.7.1 ライセンスを解除する	再度ライセンス認証を行う場合の参考を削除
2024/2/1	1.14	1.3 OS サポートポリシー	サポート対象変更
		1.4 エージェントの動作環境	対象 OS 変更
2024/2/21	1.15	5.1.1 +browser Safety Manager の動作環境	対象 OS を変更
		5.1.2 +browser Safety Manager をインストールする	インストール手順に権限付与を追加
		5.1.5 設定画面の表示内容	設定画面に「通知」追加
		5.1.6 通知権限を許可する (Android 13 以上)	セクション削除
		5.1.6 位置情報アクセスを許可する	位置情報アクセスを許可の手順追加
		5.2.1 ウイルス対策機能の動作環境	対象 OS を変更
		5.2.3 メイン画面を表示する	トレンドマイクロのロゴ変更のため、ロゴが表示されている画面差し替え
		5.2.4 オプション画面を表示する	
		5.2.5 手動で検索(不正アプリのスキャン) する	
		5.2.6 手動でパターンファイルをアップデートする	
		5.2.7 ログを収集して送付する	
5.2.8 端末情報の送信を停止する			

はじめに

本マニュアルでは、KDDI Smart Mobile Safety Manager（以下、本製品と呼ぶ）の操作ほか、各機能の概要、画面の説明、設定操作について説明しています。

また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解のうえ、マニュアルをお読みください。



名称・呼称

本マニュアルに登場する特定の企業、人について、以下の定義で記載しています。

名称	説明
サービス企業	本製品を提供する企業。
管理者	本製品の管理サイト（機器の管理・運用を行う Web サイト）を運用する者。
端末使用者	本製品で管理している端末を使用する者。
システム管理者	企業の社内システム（サーバー・インフラなど）を管理する者。

注意・ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。




記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
[]	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
「 」	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
『 』	マニュアルや資料などの名称を示しています。
< >	キーボードなどのハードキー名称（スペースキーは〈スペース〉と表記）を示しています。


参照マーク

他のマニュアルや他のページへなどの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

用語集

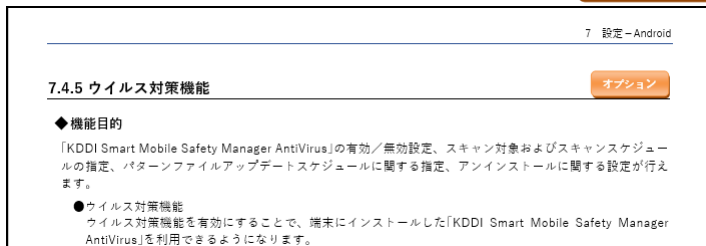
不明な用語については、『よくあるご質問（FAQ）』を参照してください。

 <https://smsmfaq.smartmanager.jp/kddiproduct/ausl/web/knowledgeList.html?keyword=%E7%94%A8%E8%AA%9E%E9%9B%86%E4%B8%80%E8%A6%A7&searchMethod=0&searchCondition=0&searchCategory=1&searchItem=1&searchTag=1>

オプション機能

オプション機能は、オプション契約をした場合に使用できる機能です。

本マニュアルでは、オプション機能の説明の見出しに **オプション** (オプションマーク) を表示しています。



免責事項

- 本マニュアルは、ユーザー種別が [管理者] のユーザーを対象としています。[管理者] 以外のユーザー種別でログインした場合は、操作が制限されます。
- iPad OS の操作は iOS と同様です。差異がある場合は iPad OS 用の記載をしています。
- 画面上的のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。
- 本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。
- OS のバージョンやブラウザにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

商標登録

- Apple、iPad、iPadOS、iPhone、Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。
IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Chrome、Google Cloud、Google マップ、Google Play、Google Workspace は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

目次

[1 Android クライアントについて](#)

[2 エージェントの基本操作](#)

[3 エージェントの使用方法](#)

[4 管理サイトからの指示による動作](#)

[5 関連アプリの使用方法](#)

[6 こんなときは](#)

1 Android クライアントについて	11
1.1 概要	12
1.2 エージェントの種類	12
1.3 OS サポートポリシー	13
1.4 エージェントの動作環境	13
1.5 エージェントが行うこと	14
1.6 エージェントが収集する情報	14
2 エージェントの基本操作	16
2.1 エージェントを起動する	17
2.2 メニュー画面の表示内容	18
2.3 Android 端末から管理サイトと同期する	20
2.4 位置情報アクセスポリシーを確認する	22
2.5 エージェントを停止／起動する	23
2.5.1 一時的にエージェントを停止する	23
2.5.2 再度エージェントを起動する	24
2.6 端末の所有者を変更する	25
2.6.1 端末を初期化する	25
2.6.1.1 リモートワイプで初期化する	25
2.6.1.2 端末のリセット機能で初期化する	25
2.6.1.3 エージェントで初期化する	25
2.6.2 機器情報を削除する	26
2.7 ライセンス解除／アンインストール（従来版エージェント）	27
2.7.1 ライセンスを解除する	27
2.7.2 エージェントをアンインストールする	28

3 エージェントの使用法	29
3.1 バックアップ／復元機能を使用する	30
3.1.1 Android 端末の設定を管理サイトにバックアップする	30
3.1.2 管理サイトに保存した Android 端末の設定を復元する	32
3.2 プロキシを編集する	34
3.2.1 プロキシ設定を追加する	34
3.2.2 プロキシ設定を変更する	36
3.2.3 プロキシ設定を削除する	38
3.3 メッセージを確認する	40
3.3.1 メッセージを表示する	40
3.3.2 未開封メッセージを表示する	42
3.3.3 メッセージ履歴を確認する	44
3.4 ユーザー情報を登録する（従来版エージェント）	46
3.5 機器情報を登録する	48
3.6 App Manager を使用する（従来版エージェント）	50
3.6.1 App Manager を開く	50
3.6.1.1 メニュー画面から開く場合	50
3.6.1.2 通知画面から開く場合	51
3.6.2 App Manager の見方	52
3.7 位置情報取得を設定する（Android 6.0 未満）	53
3.8 ソフトウェアが使用するライブラリ名を表示する	54
3.9 権限を設定する	55
3.9.1 「利用権限の要求」画面を表示する	55
3.9.2 位置情報の権限を「常に許可」に設定する（Android 10 以上）	57
3.9.3 付近のデバイス権限を「許可」に設定する（Android 12 以上）	58
3.10 NFC でキッピングする（Android 6.0～9）	60
3.11 認証情報を修復する	61
4 管理サイトからの指示による動作	63
4.1 パスワードポリシーが変更された場合	64
4.2 スクリーンロックパスワードの変更通知が表示された場合	72
4.3 アプリが制限されている場合	73
4.3.1 アプリケーション禁止で制限されている場合	73
4.3.1.1 禁止されているアプリをインストールしようとした場合	73
4.3.1.2 禁止されているアプリを起動しようとした場合	74
4.3.2 アプリケーション非表示で制限されている場合	75
4.3.3 機能制限で制限されている場合	76
4.3.3.1 カメラが禁止されている場合	76
4.3.3.2 発信先が制限されている場合	77
4.4 アプリが配信された場合（従来版エージェント）	78
4.4.1 アプリをダウンロードしていない場合	78
4.4.2 アプリをダウンロードしている場合	79
4.5 管理サイトから暗号化設定を促された場合（Android 6 未満）	80
4.6 管理外通知画面が表示された場合	81
4.7 ロック画面が表示された場合	83
4.7.1 リモートロックの解除コードで解除する場合	83
4.7.1.1 管理サイトからロックされた場合	83
4.7.1.2 スクリーンロック解除失敗によりロックされた場合	84
4.7.1.3 一定時間通信が行われずロックされてしまった場合	84


4.7.1.4 緊急通報をする場合	85
4.7.2 スクリーンロック解除失敗によりロックされた場合	85
4.8 Secure Shield が有効に設定された場合	87
4.9 CA 証明書がサイレントインストールされた場合	88
5 関連アプリの使用方法	89
5.1 +browser Safety Manager	90
5.1.1 +browser Safety Manager の動作環境	90
5.1.2 +browser Safety Manager をインストールする	91
5.1.3 メイン画面の表示内容	94
5.1.4 メニュー画面の表示内容	95
5.1.5 設定画面の表示内容	96
5.1.6 位置情報アクセスを許可する	98
5.1.7 +browser Safety Manager をアンインストールする	99
5.2 ウイルス対策機能	101
5.2.1 ウイルス対策機能の動作環境	102
5.2.2 Safety Manager AntiVirus をインストールする	102
5.2.3 メイン画面を表示する	105
5.2.4 オプション画面を表示する	106
5.2.5 手動で検索（不正アプリのスキャン）する	108
5.2.6 手動でパターンファイルをアップデートする	110
5.2.7 ログを収集して送付する	111
5.2.8 端末情報の送信を停止する	113
5.2.9 Safety Manager AntiVirus をアンインストールする	115
6 こんなときは	117
6.1 同期できないときは	118


1 Android クライアントについて


この章では、製品の概要や動作環境などを説明します。


1.1 概要

本製品は、専門の知識を必要とせずに、機器の管理・運用を行うサポートサービスです。Android 端末にアプリ「KDDI Smart Mobile Safety Manager エージェント（以下、エージェントと呼ぶ）」をインストールし認証すると、端末の状態や位置情報を確認したり、管理サイトから端末のリモートロックやリモートワイプ（初期化）をしたりできます。

 本書はキッティングされた Android 端末を前提に、操作方法を説明しています。キッティングが完了していない場合は、事前にキッティングを行ってください。詳細については、以下を参照してください。


 『Android キッティングマニュアル』




 管理サイトの操作については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』

1.2 エージェントの種類

エージェントには、従来版とストア版があります。違いは以下のとおりです。


 従来版エージェントのサポートは終了したため、新機能および新 OS には対応しません。ストア版エージェントを利用してください。

	従来版	ストア版
パッケージ名	jp.co.optim.bizagent	jp.co.optim.bizagent.smsm.store
対応 OS バージョン	Android 8.x  Android 9 以上非対応	サポート対象  新 OS バージョンに随時対応
新 OS・新機能対応	対応無し	対応有り
入手方法	—	afw 識別子/QR/NFC/Google Workspace/ゼロタッチ登録/KME を用いた Android Enterprise プロビジョニング
Android Enterprise 利用方法	無	有
Device Owner Mode 化方法	無	有  Device Owner Mode 化のみ
エージェントアップデート方法	手動、App Manager、管理者より配信のいずれか	Google Play ストアから手動/自動、管理者より managed Google Play ストアを用いた配信

1.3 OS サポートポリシー

本製品では、確実な製品の動作とセキュリティ機能の提供を目的として、以下の OS サポートポリシーを定めています。

- 本製品の最新対応 OS より 3 世代前の OS メジャーバージョンまでをサポート。
- 最新対応 OS 追加に伴い、サポート対象外となった OS バージョンについては、サポート期限が切れた日から 1 年間に限り、お問い合わせには可能な限り対応いたします。ただし、動作保証や不具合対応はいたしません。
- ☑定期的に下位の OS バージョンのサポートを終了します。サポート対象外となる OS や端末を利用している場合は、OS アップデートまたは機種の変更をしてください。対応機種については、以下を参照してください。


 『Android 対応端末表』

✍本 OS サポートポリシーは、ウイルス対策アプリ、+browser Safety Manager も対象です。

サポート対象	<ul style="list-style-type: none"> ●Android 14：最新対応 OS ●Android 13：1 世代前 ●Android 12：2 世代前 ●Android 11：3 世代前 ☑Android 10 のサポートは終了しました。問い合わせには 2025 年 1 月 31 日まで可能な限り対応します。
--------	---

1.4 エージェントの動作環境

- ☑エージェントのリリース日から 180 日間は、180 日間にリリースされたすべてのエージェントがサポートされます。ただし、リリース日から 180 日を超えた場合は、180 日以降最初にリリースされたエージェントから 2 つ前のエージェントまでが、サポートの対象になります。
- ☑エージェントは、日本国内でのみ利用が可能です。


対象 OS	Android 11 以上 ☑従来版エージェントのサポートは終了しました。 ☑詳細については以下を参照してください。  『Android 対応端末表』
本体メモリ	200MB 以上の空き容量
SD カード	5MB 以上の空き容量（ダウンロードしたインストーラーを SD カードに保存する場合）
ネットワーク接続	3G、4G/LTE、5G または Wi-Fi でインターネットへアクセスができること。直接またはプロキシを介して管理サイトと HTTPS 通信（443 番ポート）ができること。

1.5 エージェントが行うこと

概要	説明
Android 端末の情報の収集	定期的に Android 端末の情報を取得してサーバーに送信する。
Android 端末の設定	定期的にサーバーから設定を取得して Android 端末に設定する。
Android 端末の設定のバックアップ	定期的に Android 端末の設定をサーバーに保存する。
Android 端末の設定の復元	以前にサーバーに保存した設定をダウンロードし、Android 端末の設定を以前の状態に戻す。
アプリ配信	サーバーから配信されたアプリを取得し、端末に配信する。
メッセージ配信	サーバーから配信されたメッセージを取得し、端末に配信する。
不正アプリ検索（ウイルス対策機能）	Android 端末内の不正アプリを検索。

1.6 エージェントが収集する情報

エージェントは、端末の情報を定期的に取得してサーバーに送信します。取得する情報は以下の項目になります。また、エージェントが取得した情報の内容は、管理サイトから CSV ファイルをダウンロードして確認することができます。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「CSV で編集」

カテゴリー	項目	補足
端末情報	GPS 機能	
	OS バージョン	
	モデル名	
	ファームウェアバージョン	
	ビルド番号	
	シリアル番号	
	Bluetooth 状態	
SIM 情報	電話番号	
	ネットワークオペレーター	
	IMEI	
	MEID	
	ICCID	
	SIM 種別	
バッテリー情報	バッテリー残量	
	バッテリー状態	
端末パスワード	パスワードのポリシー	
	パスワードの再利用	
	パスワードの有効期限	
ネットワーク情報	グローバル IP アドレス	

カテゴリー	項目	補足
	ネットワークモード	3G、4G/LTE、5G、Wi-Fi、WiMAX
	ネットワークオペレーター	SIM あり端末のみ
	MAC アドレス	
	IP アドレス	
	無線ネットワーク	
	SSID	
ウイルス対策	ウイルス対策ソフトのログ	
	ウイルス対策ソフト名	
	ウイルス対策機能	
	アプリケーションバージョン	
	パターンファイルバージョン	
	パターンファイル最終更新チェック日時	
	パターンファイル最終更新日時	
	スキャン最終実行日	
KDDI Smart Mobile Safety Manager	エージェントバージョン	
	通信日時	
	認証日時	
	ログ	
	自動ロックまでの時間	
	ロック解除失敗によるワイプ	
	リモートロック状態	
	暗号化状態	
	root 化状態	
	root 化検知内容	
	アプリ一覧	
	位置情報	
	保護状態	
	状態取得日時	
	配信されるメッセージ	
	メッセージボックス	

2 エージェントの基本操作

この章では、メニュー画面の表示や各ボタンの説明、位置情報アクセスポリシーの表示方法など、エージェントの基本操作について説明します。

2.1 エージェントを起動する


【1】 「KDDI Safety Manager」アイコンをタップします。

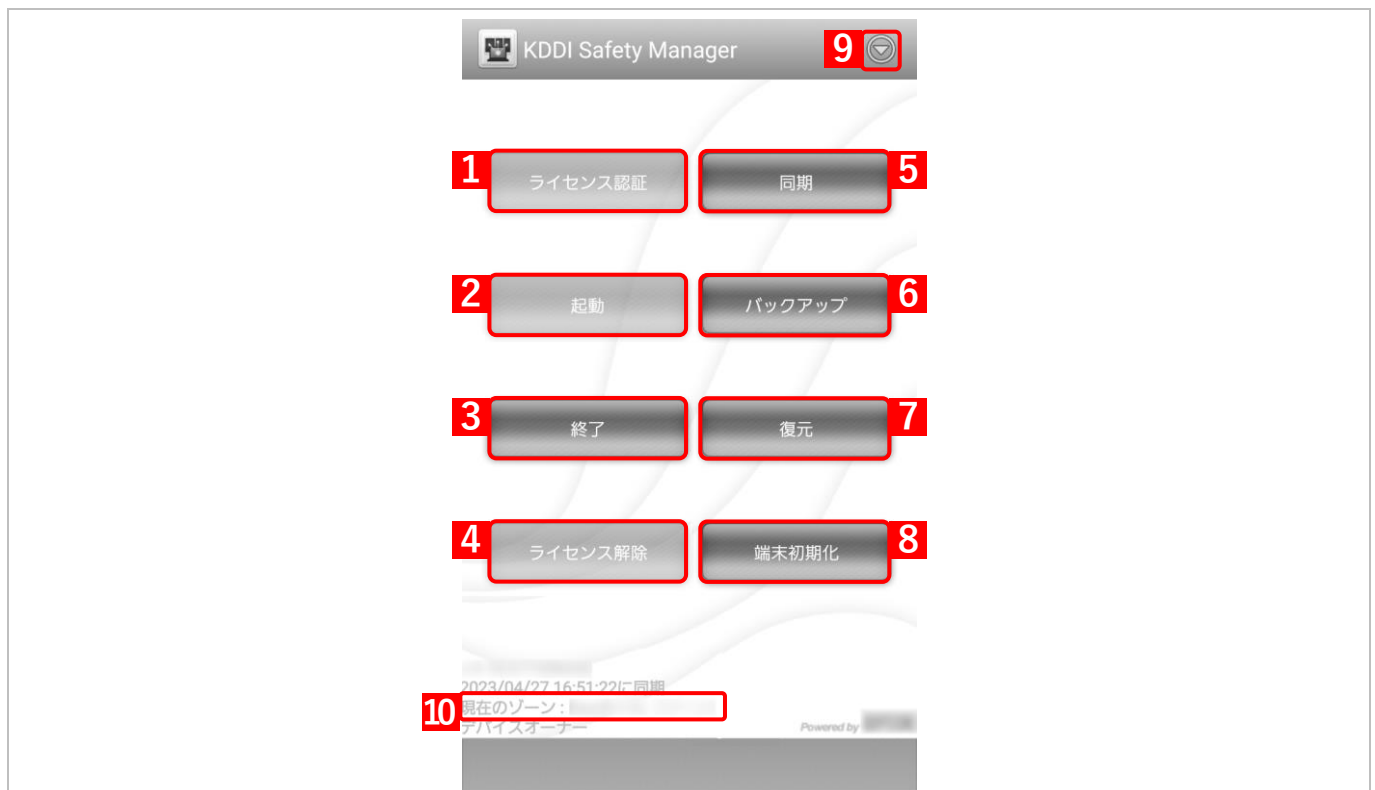










【2】 メニュー画面が表示されました。



















2.2 メニュー画面の表示内容

メニュー画面に表示されるボタンについて説明します。

 エージェントの状態、および機能パッケージの設定によっては、ボタンが無効になる場合があります。



項番	名称	説明
1	[ライセンス認証]	<p>本製品を利用するためにはライセンス認証が必要です。</p> <p> 管理サイトと Google 間の連携方式によって、ライセンス認証の方法が異なります。事前に連携方式を確認のうえ、ライセンスを認証してください。詳細については、以下を参照してください。</p> <p> 『Android キットニングマニュアル』 - 「キットニング方法を選択する」</p>
2	[起動]	<p>エージェントを起動します。詳細は以下を参照してください。</p> <p> 「再度エージェントを起動する」 24 ページ</p>
3	[終了]	<p>エージェントを終了します。詳細は以下を参照してください。</p> <p> 「一時的にエージェントを停止する」 23 ページ</p>
4	[ライセンス解除]	<p>ユーザーの情報が端末上に残ることで発生し得るデータ漏洩を防止する仕様のため、ライセンス解除はできません。端末の初期化を行ってください。</p> <p> 『Android キットニングマニュアル』の「端末の所有者を変更する場合」 - 「端末を初期化する」</p> <p> 従来版エージェントをご利用かつ Device Owner Mode 化されていない場合は、ライセンス解除はできます。詳細は以下を参照してください。</p> <p> 「ライセンスを解除する」 27 ページ</p> <p> 従来版エージェントのサポートは終了しました。ストア版エージェントを利用してください。</p>

項番	名称	説明
5	[同期]	管理サイトで行った設定を、Android 端末へすぐに反映できます。詳細は以下を参照してください。  「Android 端末から管理サイトと同期する」 20 ページ
6	[バックアップ]	ご使用の Android 端末の設定を管理サイトに保存できます。詳細は以下を参照してください。  「Android 端末の設定を管理サイトにバックアップする」30 ページ
7	[復元]	管理サイトに保存した Android 端末の設定を復元できます。詳細は以下を参照してください。  「管理サイトに保存した Android 端末の設定を復元する」 32 ページ
8	[端末初期化]	端末の初期化を行い、工場出荷状態の画面にします。詳細は以下を参照してください。  『Android キットニングマニュアル』の「端末の所有者を変更する場合」 - 「端末を初期化する」 - 「エージェントで初期化する」 <input checked="" type="checkbox"/> 従来版エージェントをご利用かつ Device Owner Mode 化されていない場合は、[アンインストール]と表示されています。詳細は以下を参照してください。  「エージェントをアンインストールする」 28 ページ <input checked="" type="checkbox"/> 従来版エージェントのサポートは終了しました。ストア版エージェントを利用してください。
9	 [メニューボタン]	タップすると、オプションメニューが表示されます。  各メニューの詳細は、以下を参照してください。  「プロキシを編集する」 34 ページ  「メッセージを確認する」 40 ページ  「ユーザー情報を登録する」 46 ページ  「機器情報を登録する」 48 ページ  「App Manager を使用する (従来版エージェント)」 50 ページ  「位置情報取得を設定する (Android 6.0 未満)」 53 ページ  「ソフトウェアが使用するライブラリ名を表示する」 54 ページ  「権限を設定する」 55 ページ  「NFC でキットニングする (Android 6.0~9)」 60 ページ  「認証情報を修復する」 61 ページ
10	現在のゾーン	管理サイトでゾーンポリシー構成が設定されている場合、表示されます。詳細については、以下を参照してください。  『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Windows」 - 「Zone Management」

2.3 Android 端末から管理サイトと同期する

管理サイトとの同期は定期的に行われますが、定期時刻を待たずに自由なタイミングで同期することができます。情報や設定の更新を定期時刻前に行うことができます。

【1】メニュー画面の「同期」をタップします。

✎メニュー画面の表示方法は以下を参照してください。

🔗「エージェントを起動する」17 ページ



【2】最新の設定を反映しています。



《従来版エージェントでデバイス管理機能を有効化していない場合》

右のような画面が表示されます。

[有効にする] をタップします。

✎従来版エージェントのサポートは終了しました。ストア版エージェントを利用してください。

✎そのほかサーバーと通信が行われたときに、デバイス管理機能を有効化していない場合も右記のような画面が表示されますので [有効にする] をタップします。



【3】 設定が反映されました。同期した時刻が (A) に表示されます。



2.4 位置情報アクセスポリシーを確認する

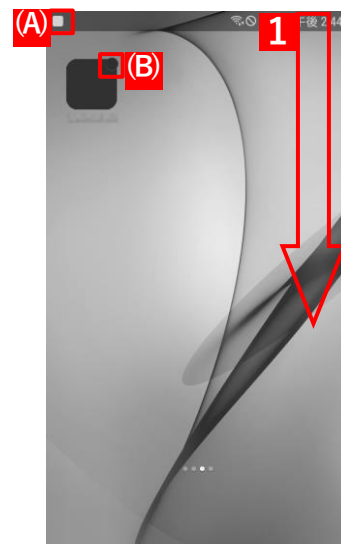
位置情報アクセスポリシーの表示は、Google のバックグラウンドで位置情報の利用許可についてのポリシー変更に伴い、エージェントが位置情報を利用する旨の通知です。エージェントの起動中、端末のステータスバーにエージェントのアイコンとして常に表示されます。

以下の手順で、位置情報アクセスポリシーの内容を確認します。

【1】画面を上から下へスライドします。

⇒位置情報アクセスポリシーが表示されます。

- ✎ エージェントの起動中は、ステータスバーに (A) エージェントのアイコン、ホーム画面のエージェントのアイコンに (B) バッチ (右上の赤丸) が常に表示されます。非表示にすることはできません。



【2】▼をタップします。

⇒位置情報アクセスポリシーの全文が表示されます。

- ✎通知を削除することはできません。



- ✎位置情報アクセスポリシーの全文表示を解除するときは、(C) ▲をタップします。



2.5 エージェントを停止／起動する

何らかのトラブルでエージェントの動作を一時的に止めたい場合、エージェントを終了して一時的にエージェントの動作を停止する手順と、一時的に終了したエージェントを再度起動する手順について説明します。

2.5.1 一時的にエージェントを停止する

エージェントを終了し、Android 端末の管理・運用を一時的に停止します。

【1】 [終了] をタップします。



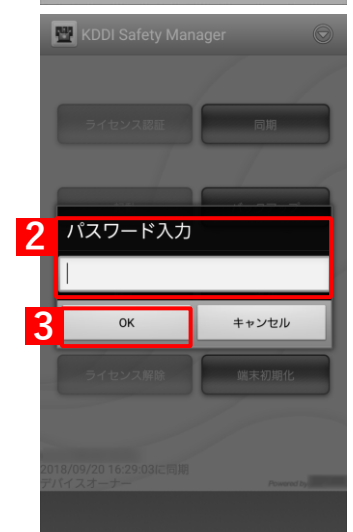
【2】 パスワードを入力します。

パスワードは管理者にお問い合わせください。

管理サイトでの設定によりパスワード入力が不要な場合もあります。

【3】 [OK] をタップします。

【4】 エージェントが終了します。



2.5.2 再度エージェントを起動する

終了したエージェントを再度起動し、再び管理下に置きます。

- 【1】** [起動] をタップします。
- 【2】** エージェントが開始されます。



2.6 端末の所有者を変更する

端末からの情報漏洩を防ぐため、エージェントによるライセンス解除、および端末からのエージェントのアンインストールはできません。

端末の所有者を変更する場合は、端末の初期化、および機器情報の削除を行ってください。

🔗 Google Play ストアで Google アカウントは、削除しないでください。

🔗 再度キッティングする場合は、以下を参照してください。

📖 『Android キッティングマニュアル』

2.6.1 端末を初期化する

端末の初期化を行い、工場出荷状態（初期設定画面）にしてください。

端末を初期化するには、以下3つの方法があります。

- リモートワイプで初期化する
- 端末のリセット機能で初期化する
- エージェントで初期化する

2.6.1.1 リモートワイプで初期化する

管理サイトから対象端末のリモートワイプを行います。

🔗 リモートワイプを実行すると、すぐに端末が初期化されます。実行時には細心の注意を払ってください。

📖 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器の操作」 - 「(操作 - Android) リモートワイプ」

2.6.1.2 端末のリセット機能で初期化する

管理サイトと接続できなかったり、エージェントが起動しない場合などは、端末のリセット機能で初期化を行ってください。

🔗 端末のリセット機能は、端末ごとに異なります。詳細については、利用している端末の取扱説明書やヘルプを確認してください。

2.6.1.3 エージェントで初期化する

【1】 [終了] をタップします。

🔗 エージェント起動中は端末初期化できません。



【2】 「パスワード」を入力します。

- ✎ パスワードは管理者にお問い合わせください。
管理サイトでの設定によりパスワード入力が必要な場合もあります。

【3】 [OK] をタップします。**【4】 [端末初期化] をタップします。****【5】 「データの初期化に同意する」にチェックを入れます。****【6】 [端末初期化] をタップします。**

2.6.2 機器情報を削除する


端末の初期化を行っても、管理サイトの機器情報は削除されません。管理サイトで対象の端末の機器情報を削除してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器の個別削除」

- ✎ 機器情報を削除すると、紐づくユーザーも解除されます。


2.7 ライセンス解除／アンインストール（従来版エージェント）

従来版エージェントで動作を完全に止めるためには、エージェントを一時的に停止後、ライセンスの解除とエージェントのアンインストールが必要です。

 本機能は、従来版エージェントのみに対応しています。従来版エージェントのサポートは終了したので、ストア版エージェントを利用してください。

2.7.1 ライセンスを解除する


従来版エージェントを完全に停止させるため、ライセンス認証の解除を行います。また、ライセンス解除後は、エージェントをアンインストールしてください。


 「エージェントをアンインストールする」28 ページ

【1】 メニュー画面の [ライセンス解除] をタップします。



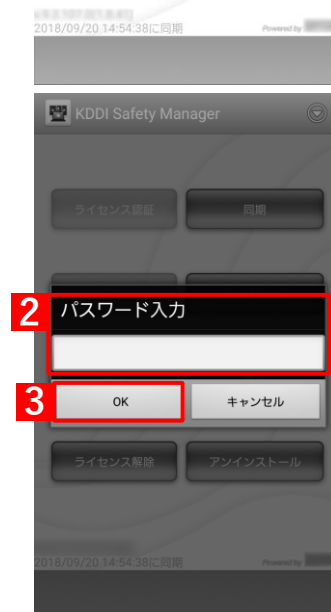
【2】 パスワードを入力します。

 パスワードは管理者にお問い合わせください。

 管理サイトでの設定によりパスワード入力が必要な場合があります。

【3】 [OK] をタップします。

【4】 ライセンス認証が解除されます。



2.7.2 エージェントをアンインストールする

従来版エージェントを完全に停止させるため、エージェントのアンインストールを行います。

✂ アンインストールの前に、ライセンス認証の解除を行ってください。

📖 「ライセンスを解除する」 27 ページ

【1】 メニュー画面の [アンインストール] をタップします。

✂ エージェント起動中はアンインストールできません。エージェントを終了させてから、アンインストールしてください。詳細は以下を参照してください。

📖 「一時的にエージェントを停止する」 23 ページ

【2】 [OK] をタップします。

【3】 アンインストールされます。



3 エージェントの使用方法

この章では、エージェントの使用方法について説明します。

3.1 バックアップ／復元機能を使用する

オプション

管理サイトで定期的に行われるバックアップとは別に、端末から任意のタイミングで行うバックアップの方法と、バックアップした項目の復元方法について説明します。

- ☑ 本機能はオプション機能（追加機能）のため、別途契約が必要です。
- ☑ バックアップできる項目は、「システム設定」、「セキュリティ設定」、「Wi-Fi 設定」、「Wi-Fi ネットワーク」、「連絡先」、「お気に入り」です。他の項目はバックアップできません。
- ☑ バックアップは3件まで保存できます。バックアップが行われるたびに、古いものから上書きされます。

3.1.1 Android 端末の設定を管理サイトにバックアップする

バックアップは管理サイトで定期的に行われていますが、ここでは、Android 端末から任意のタイミングでバックアップを行う手順について説明します。

- ✎ 管理サイトで定期的にバックアップを行う設定を作成することもできます。詳細については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「設定バックアップ」

- [1]** メニュー画面の「バックアップ」をタップします。



- [2]** バックアップをしています。しばらくお待ちください。



- [3]** バックアップが完了しました。[OK] をタップします。
✎ 復元コードは Android 端末の設定を復元するときに利用します。



3.1.2 管理サイトに保存した Android 端末の設定を復元する

管理サイトで定期バックアップされている設定や、「Android 端末の設定を管理サイトにバックアップする」でバックアップした設定を復元します。

☑ 設定を復元するには、復元コードが必要です。「Android 端末の設定を管理サイトにバックアップする」で表示された復元コードを利用するか、管理者にお問い合わせください。

【1】 メニュー画面の [復元] をタップします。



【2】 復元コードを入力します。

【3】 [送信] をタップします。

☑ 復元コードは全部で 10 文字です。一番左の入力欄に 3 文字、真ん中の入力欄に 3 文字、一番右の入力欄には 4 文字とわけて入力してください。



【4】 復元を行っています。しばらくおまちください。



【5】 復元が完了しました。[OK] をタップします。



3.2 プロキシを編集する

プロキシ設定の追加/変更/削除について説明します。

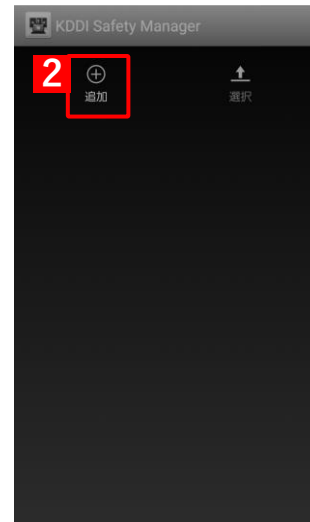
3.2.1 プロキシ設定を追加する

- 【1】** メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、[プロキシ] をタップします。

☑Android 端末の種類によっては、左下のメニューボタンからメニューを表示します。

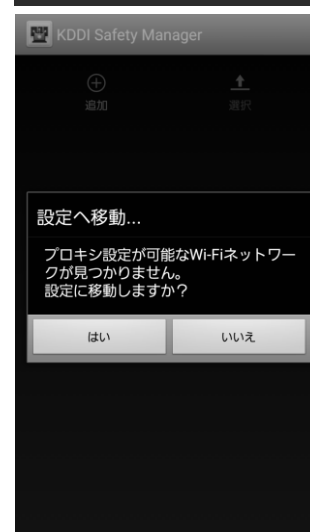


- 【2】** [追加] をタップします。

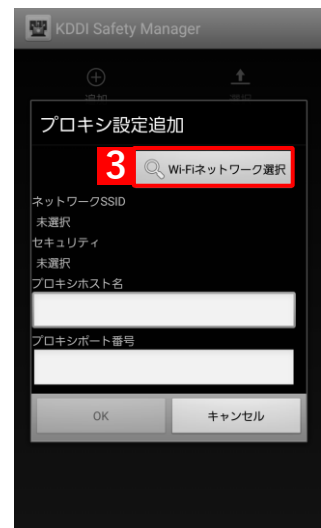


《 Android 6.0 以上の場合 》

管理サイトで保存した Wi-Fi ネットワークのみプロキシ設定が可能です。その他の Wi-Fi ネットワークのプロキシ設定は、端末の設定画面より行ってください。



[3] [Wi-Fi ネットワーク選択] をタップします。

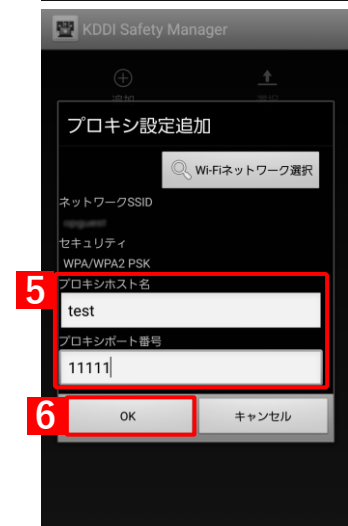


[4] ネットワークを選択します。

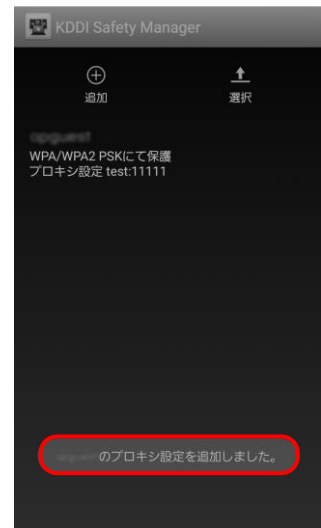


[5] プロキシホスト名、プロキシポート番号を入力します。

[6] [OK] をタップします。



【7】 プロキシの設定が完了しました。



3.2.2 プロキシ設定を変更する

【1】 メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、[プロキシ] をタップします。

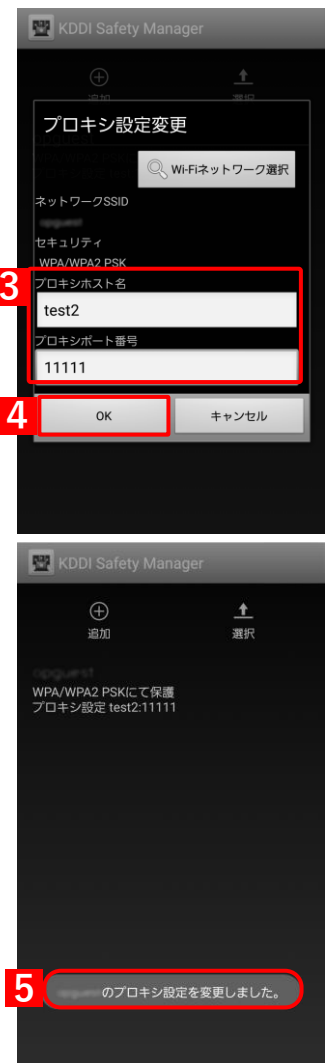
Android 端末の種類によっては、左下のメニューボタンからメニューを表示します。



【2】 編集を行うプロキシをタップします。

- 【3】** 変更内容を入力します。
- 【4】** [OK] をタップします。

- 【5】** プロキシの設定が変更されました。



3.2.3 プロキシ設定を削除する

【1】 メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、[プロキシ] をタップします。

☑Android 端末の種類によっては、左下のメニューボタンからメニューを表示します。



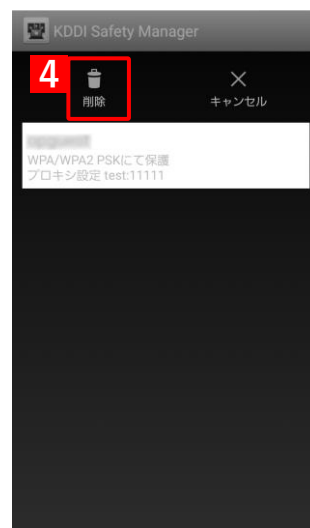
【2】 [選択] をタップします。



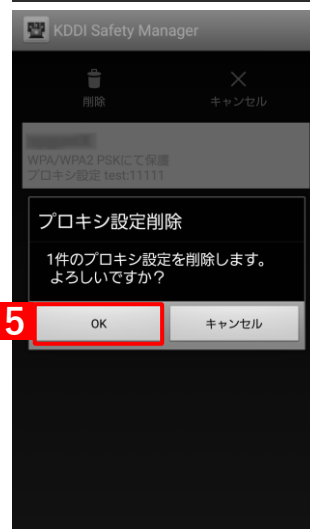
【3】 削除したいプロキシを選択します。



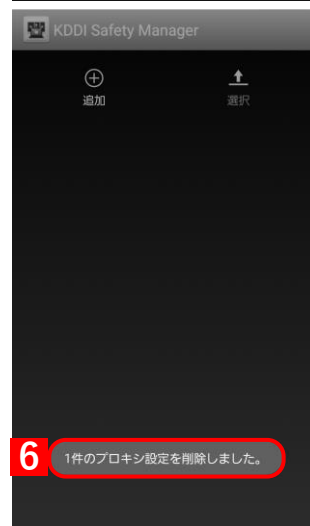
【4】 「削除」 をタップします。



【5】 「OK」 をタップします。



【6】 プロキシ設定が削除されました。



3.3 メッセージを確認する

オプション

管理サイトからのメッセージを受信した場合の表示方法や、未開封メッセージの表示方法、メッセージ履歴の確認方法について説明します。

🔗 本機能はオプション機能（追加機能）のため、別途契約が必要です。

🔗 メッセージの確認方法については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「メッセージ通知」

🔗 端末ごとの配信予定、および配信済みのメッセージの確認方法は、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「一覧」－「機器の情報」－「(情報－Android) メッセージ」

3.3.1 メッセージを表示する

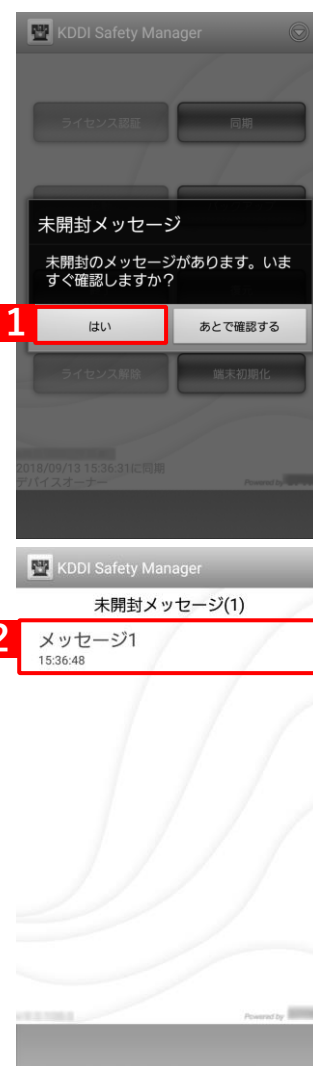
オプション

[1] メッセージを受信すると右の画面が表示されます。[はい] をタップします。

🔗 あとで確認する場合は[あとで確認する]をタップします。メッセージの確認方法は以下を参照してください。

🔗 「未開封メッセージを表示する」42 ページ

[2] 確認するメッセージをタップします。



【3】 メッセージが表示されました。



3.3.2 未開封メッセージを表示する

オプション

【1】 メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、[メッセージ] をタップします。

☑Android 端末の種類によっては、左下のメニューボタンからメニューを表示します。

【2】 [未開封メッセージ] をタップします。

【3】 確認するメッセージをタップします。



【4】 メッセージが表示されました。



3.3.3 メッセージ履歴を確認する

オプション

【1】 メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、[メッセージ] をタップします。

Android 端末の種類によっては、左下のメニューボタンからメニューを表示します。

【2】 [メッセージ履歴] をタップします。

【3】 メッセージ履歴が表示されました。メッセージをタップすると、受信したメッセージの内容が表示されます。



【4】 メッセージの内容が表示されました。



3.4 ユーザー情報を登録する（従来版エージェント）

ユーザー情報を変更、登録する手順について説明します。

- 管理サイトで、Android ポータルを表示に設定してください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

- 本機能は、従来版エージェントのみに対応しています。従来版エージェントのサポートは終了したので、ストア版エージェントを利用してください。

- ベーシックパックプラスをご利用の方は、ポータルからユーザーの登録および変更は行えません。

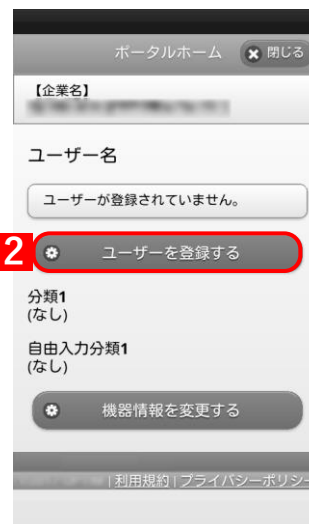
【1】 メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、[ポータル] をタップします。

- Android 機器の種類によっては、画面左下のメニューボタンからメニューを表示します。



【2】 ポータルホーム画面が表示されます。

≪ユーザーが登録されていない場合≫
[ユーザーを登録する] をタップします。



《ユーザーが登録されている場合》
[別のユーザーを登録する] をタップします。

- [3]** 「社員番号」「姓」「名」を入力します。
[4] 「登録する」 をタップします。

[5] ユーザーの登録が完了しました。[OK] をタップします。

Portal Home [閉じる]

【企業名】

ユーザー名

2 別ユーザーを登録する

分類1
グループ1

自由入力分類1
12345

機器情報を変更する

利用規約 | プライバシーポリシー

User Registration [閉じる]

【企業名】

ユーザー登録

3 社員番号

姓

名

戻る **4** 登録する

利用規約 | プライバシーポリシー

User Registration [閉じる]

【企業名】

ユーザー登録が完了しました。

5 OK

利用規約 | プライバシーポリシー

3.5 機器情報を登録する

以下の場合、機器情報の登録を行ってください。

- ライセンスを認証したときに、機器情報の登録を行わなかった場合
- 設定している機器情報を変更したい場合

管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目の追加を行うと、「機器情報登録」画面に表示され、リストからの選択や直接入力で、端末情報の登録や変更を行うことができます。

- ☑ あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ☑ 管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

- ☑ 管理サイトで、Android ポータルを表示に設定してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

- [1]** メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、[ポータル] をタップします。

- ☑ Android 端末の種類によっては、画面左下のメニューボタンからメニューを表示します。



- [2]** [機器情報を変更する] をタップします。

- 【3】** 必要事項を選択、入力します。
- 【4】** [登録する] をタップします。
⇒ 機器情報の登録が完了します。




- 【5】** [OK] をタップします。


3.6 App Manager を使用する（従来版エージェント）


App Manager の使用方法について説明します。

App Manager は、以下の本製品関連アプリのアップデートやインストール、インストールされたアプリの起動を行うことができます。

- KDDI Smart Mobile Safety Manager エージェント
- Safety Manager AntiVirus
- +browser Safety Manager
- エージェントリカバリ支援アプリ

 本機能は、従来版エージェントのみに対応しています。従来版エージェントのサポートは終了したので、ストア版エージェントを利用してください。

 管理サイトで App Manager を表示に設定してください。詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「アプリケーション」—「App Manager」

3.6.1 App Manager を開く


App Manager を開く方法は、以下の 2 通りあります。どちらかを選択してください。

- メニュー画面から開く場合
- 通知画面から開く場合

3.6.1.1 メニュー画面から開く場合

通常、本製品関連アプリのアップデートやインストールは管理サイトからの指示によるタイミングで行われますが、任意のタイミングでアップデートやインストールを行うことができます。

【1】 メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、[App Manager] をタップします。

 Android 端末の種類によっては、左下のメニューボタンからメニューを表示します。



- [2]** App Manager が表示されます。(A) アップデート、または (B) インストールするアプリをタップします。
- [3]** アプリタップ後は、画面の指示に従い、アップデート、インストールを行ってください。



3.6.1.2 通知画面から開く場合

本製品関連アプリのアップデートやインストールは、管理サイトから送信されるとヘッドアップ通知によってメッセージ内容が表示され、ヘッドアップ通知から App Manager を表示してアップデートやインストールを行うことができます。

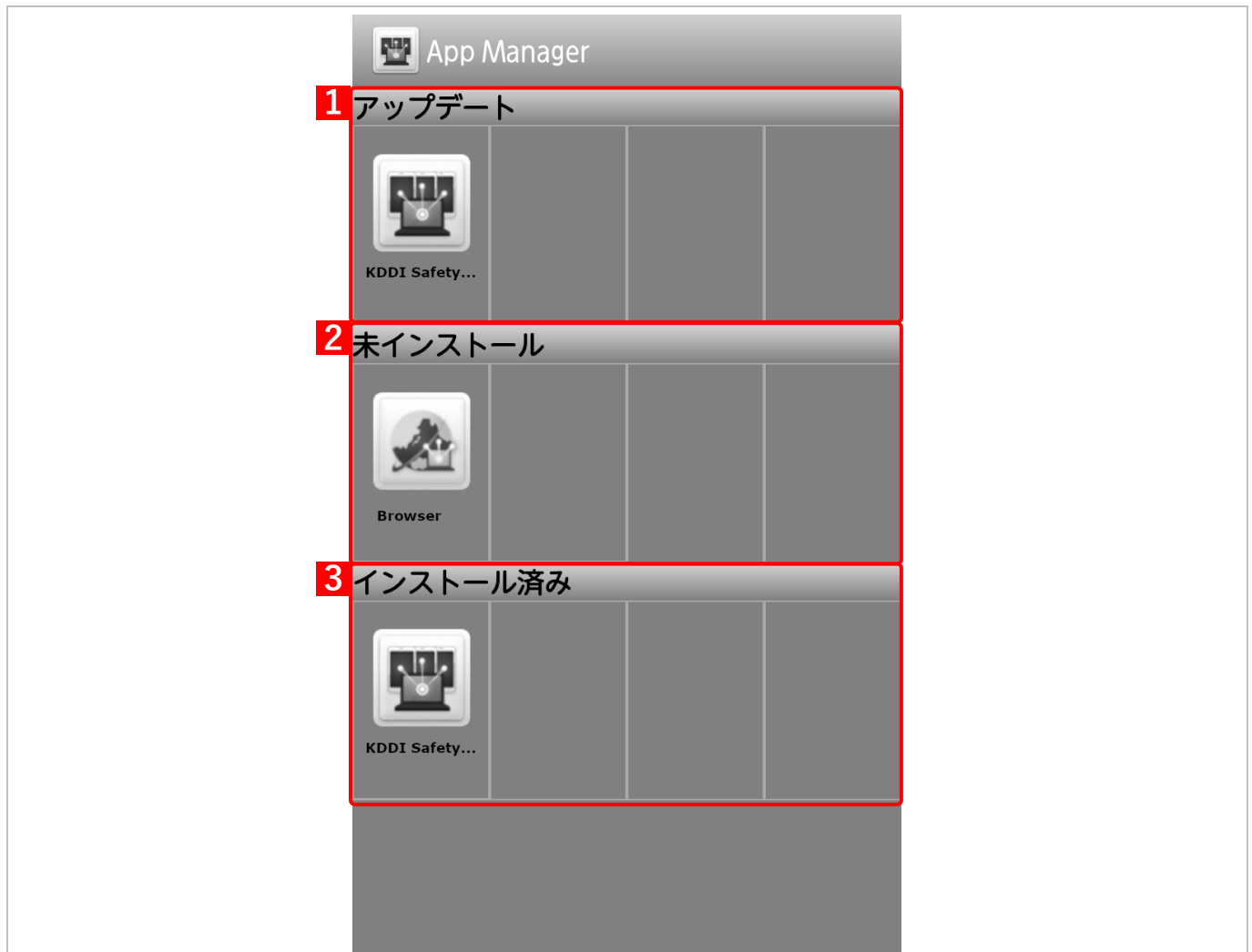
- [1]** 通知画面からアップデートを行う場合は、画面を上から下へスライドし、通知画面を表示させます。
 Android 3.x の端末は右下の通知をタップしてください。
- [2]** アップデート通知をタップして、App Manager を表示します。



- [3]** App Manager が表示されます。(A) アップデート、または (B) インストールするアプリをタップします。
- [4]** アプリタップ後は、画面の指示に従い、アップデート、インストールを行ってください。



3.6.2 App Manager の見方



項番	名称	説明
1	アップデート	アップデートが必要なアプリが表示されます。該当のアプリをタップし、アップデートを行います。画面の指示に従い、アップデートを行ってください。
2	未インストール	インストールが必要なアプリが表示されます。該当のアプリをタップし、インストールを行います。画面の指示に従い、インストールを行ってください。
3	インストール済み	インストール済みのアプリが表示されます。

3.7 位置情報取得を設定する (Android 6.0 未満)

Android 6.0 未満の端末で、位置情報の取得を許可する／しないを設定します。

☑ Android 6.0 以上の場合は、メニューに [位置情報] が表示されません。以下を参照して、権限設定画面で設定してください。

📖 「権限を設定する」 55 ページ

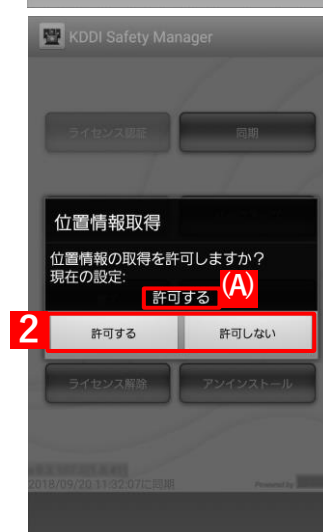
☑ 位置情報の取得を許可にすると、ポリシー設定や電波の状況、電話／メールの使用状況によって、バッテリー消費に影響があります。

[1] メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、[位置情報] をタップします。

☑ Android 端末の種類によっては、左下のメニューボタンからメニューを表示します。



[2] 現在の設定が (A) に表示されます。
[許可する] または [許可しない] をタップします。



3.8 ソフトウェアが使用するライブラリ名を表示する

【1】 メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、[情報] をタップします。

✎ Android 端末の種類によっては、左下のメニューボタンからメニューを表示します。



【2】 ソフトウェアが使用するライブラリ名が表示されます。
[OK] をタップします。



3.9 権限を設定する

各種の権限設定を行うための「利用権限の要求」画面の表示方法や、エージェントバージョンのアップデートを実行すると変更されてしまう設定の修正方法について説明します。

3.9.1 「利用権限の要求」画面を表示する

「利用権限の要求」画面を表示して、エージェントに各種の権限を付与します。

「利用権限の要求」画面はキッピング中に表示されますが、各種の権限を再設定する場合は、本操作で「利用権限の要求」画面を表示します。

[1] メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、[権限設定] をタップします。

- Android 端末の種類によっては、左下のメニューボタンからメニューを表示します。



[2] 「利用権限の要求」画面が表示されます。

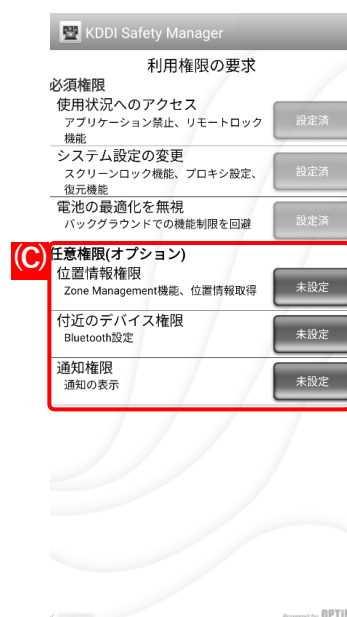
- Android 12 以上の端末で、エージェントをバージョン 9.14.0 未満から 9.14.0 以上へアップデートすると、付近のデバイス権限を「許可する」に設定していた場合でも、「許可しない」に設定が変更される場合があります。アプリの権限設定画面で付近のデバイス権限を「許可」に設定してください。

「付近のデバイス権限を「許可」に設定する (Android 12 以上)」
58 ページ

- 「必須権限」(A) はエージェントのキッピング後に要求され、必ず「設定済」設定し、変更することはできません。
- 「任意権限 (オプション)」(B) を変更する場合は、ボタンをタップして設定を行います。
- 管理サイトと Google 間の連携方式によって、キッピング方法が異なります。事前に連携方式を確認のうえ、キッピングしてください。詳細については、以下を参照してください。

『Android キッピングマニュアル』 - 「キッピング方法を選択する」

- Android 13 以上の端末、かつエージェントバージョン 9.16.0 以上では、(C) 任意権限に「通知権限」が表示されます。「ストレージ権限」は表示されません。



3.9.2 位置情報の権限を「常に許可」に設定する（Android 10 以上）

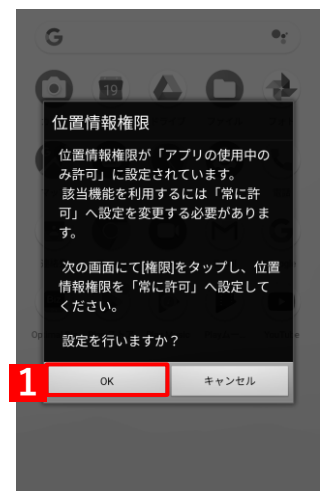
Android 10 以上の端末で、エージェントバージョンを 9.9.106.0 以下から 9.10.100.0 以上へアップデートすると、位置情報の権限を [許可] に設定していた場合は、強制的に [アプリの使用のみ許可] に変更されます。そのため、「位置情報権限」画面を表示して、位置情報の権限が変更されたことを警告します。位置情報の権限が変更された場合は、位置情報の権限を [常に許可] に設定してください。

☑ Secure Shield、およびアプリケーション禁止でアプリの使用を制限している場合、権限設定の画面は表示されません。

📖 「Secure Shield が有効に設定された場合」 87 ページ

📖 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「アプリケーション」—「アプリケーション禁止」

[1] [OK] をタップします。



[2] [権限] をタップします。



[3] 位置情報を有効に設定します。

☑ Android 12 以上は、正確な位置情報を取得するために「正確な位置情報を使用」を有効に設定してください。



3.9.3 付近のデバイス権限を「許可」に設定する（Android 12 以上）

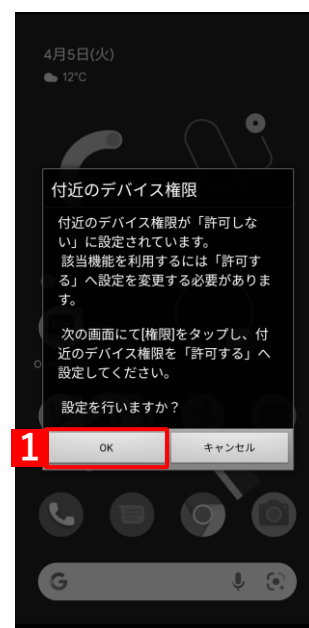
Android 12 以上の端末で、エージェントバージョンを 9.14.0 未満から 9.14.0 以上へアップデートすると、付近のデバイス権限を [許可する] に設定していた場合は、強制的に [許可しない] に変更される場合があります。そのため、「付近のデバイス権限」画面を表示して、付近のデバイス権限が変更されたことを警告します。付近のデバイス権限が変更された場合は、付近のデバイス権限を [許可] に設定してください。

☑ Secure Shield、およびアプリケーション禁止でアプリの使用を制限している場合、権限設定の画面は表示されません。

📖 「Secure Shield が有効に設定された場合」 87 ページ

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「アプリケーション」—「アプリケーション禁止」

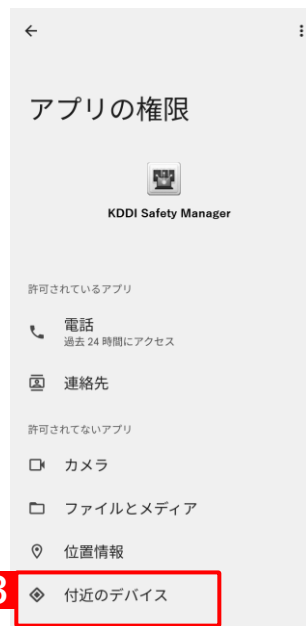
[1] [OK] をタップします。



[2] [権限] をタップします。



【3】 [付近のデバイス] をタップします。



【4】 許可に設定します。



3.10 NFC でキッピングする (Android 6.0~9)

メニューから NFC キッピングを選択する手順について説明します。

NFC キッピングは、設定した親機を子機にかざすだけで簡単に子機を設定するキッピング方法です。

詳細については、以下を参照してください。

🔍 『Android キッピングマニュアル』の「その他のキッピング方法」－「NFC でキッピングする」

🔍 Android 6.0~9 の NFC 対応端末のみ、本機能を使用できます。NFC 対応端末については、以下を参照してください。

🔍 『Android 対応端末表』

🔍 管理サイトで、NFC キッピングを有効に設定していない場合、本機能は使用できません。詳細については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定－Android」－「Device Owner Mode」－「NFC キッピング (親機を設定)」

【1】 メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、[NFC キッピング] をタップします。
以降の手順は、以下を参照してください。

🔍 『Android キッピングマニュアル』の「その他のキッピング方法」－「NFC でキッピングする」－「親機を設定する」



3.11 認証情報を修復する

認証情報が破損し、管理サイトと同期ができない場合に認証情報を修復します。

以下を参照し、端末の状態を確認してから本機能を実施してください。

🔗 「同期できないときは」 118 ページ

📌 本機能は、「afw 識別子」「NFC」「QR コード」のいずれかでキッティングされ、ユーザーに紐づいている端末のみ使用できます。キッティング方法の詳細については、以下を参照してください。

📖 『Android キッティングマニュアル』

📌 管理外の端末の認証情報は、修復できません。

[1] メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、[認証情報修復機能] をタップします。

⇒ 認証情報修復の画面が表示されます。



[2] 「企業コード」、 「認証コード」 を入力します。

📌 ユーザーID による修復はできません。

📌 企業コード、認証コードは管理者にお問い合わせください。

📌 (A) 「QR コード読取による認証情報の入力」をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QRs コードは、管理者にお問い合わせください。

📌 カメラの利用が制限されている場合は、QR コードの読み取りはできません。

[3] [送信] をタップします。

⇒ 認証情報修復完了の画面が表示されます。

- 【4】 [OK] をタップします。**
⇒メニュー画面が表示されます。



4 管理サイトからの指示による動作

この章では、管理サイトからの指示による Android 端末の動作について説明します。

4.1 パスワードポリシーが変更された場合

管理サイトで「パスワードポリシー」の制限を設定すると、「スクリーンロックパスワード設定」画面が自動的に表示されます。管理サイトで設定した「パスワードポリシー」にしたがってパスワードを設定します。

- パスワードの変更を行わず画面を消してしまうと、アプリが非表示、または無効となり、アプリが使用できなくなります。パスワードポリシーの変更を行わなかった場合は、以下を参照してください。

🔑 「パスワードポリシーの変更を行わなかった時の対応」 66 ページ

- 管理サイトの [画面ロック] で「パスワードポリシー」から [以下の制限を設定する] を選択し、制限する内容を設定した場合、「スクリーンロックパスワード設定」画面が表示されます。「パスワードポリシー」については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「セキュリティ」—「画面ロック」

- 【1】 [今すぐ変更する] をタップします。**




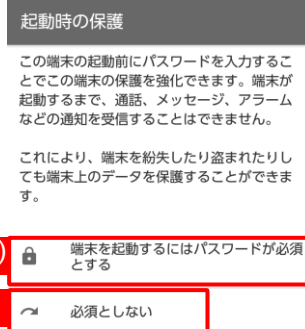
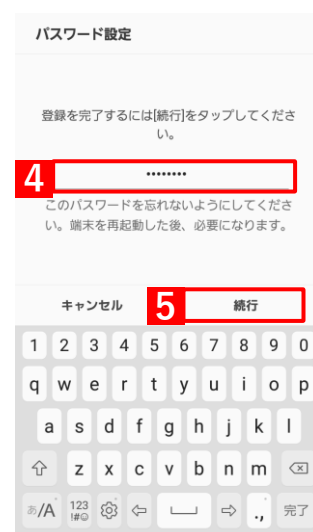
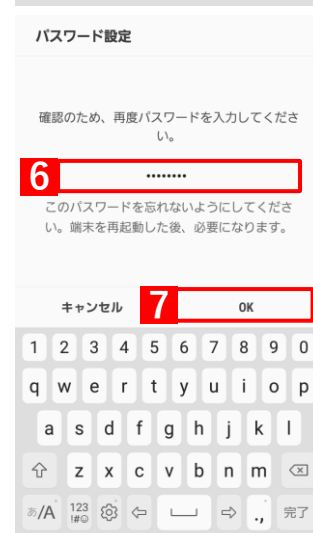
- 【2】 [パスワード] をタップします。**

⇒ 「起動時の保護」が表示されます。

- 管理サイトの設定により、「PIN」(A)でも設定できる場合があります。その場合は、「PIN」か「パスワード」のどちらかを設定します。
- ご利用の Android 端末により、画面が異なります。右の画面が表示される前に、指紋登録確認画面が表示される場合があります。

【3】 「必須としない」を選択してください。

-  (A) 「端末を起動するにはパスワードが必須とする」をタップした場合は、パスワードを忘れたときに端末を再起動すると、スクリーンロックパスワードの変更ができず、端末が使用できなくなります。端末を復旧させるには、端末を強制的に初期化する必要があるため、注意してください。

**【4】 「パスワード」を入力します。****【5】 [続行] をタップします。****【6】 確認のための「パスワード」をあらためて入力します。****【7】 [OK] をタップします。**

パスワードポリシーの変更を行わなかった時の対応

管理サイトで画面ロックの「パスワードポリシー」が変更され、「スクリーンロックパスワード変更」画面が表示されたときに、パスワードの変更を行わず、アプリが使用できなくなった場合の対処法について説明します。

◆アプリが非表示になった場合

アプリが非表示となってしまった場合、「スクリーンロックパスワード変更」画面を再度表示してパスワードポリシーに準じた設定を行い、アプリを再び使用できるようにします。

【1】 [今すぐ変更する] をタップします。

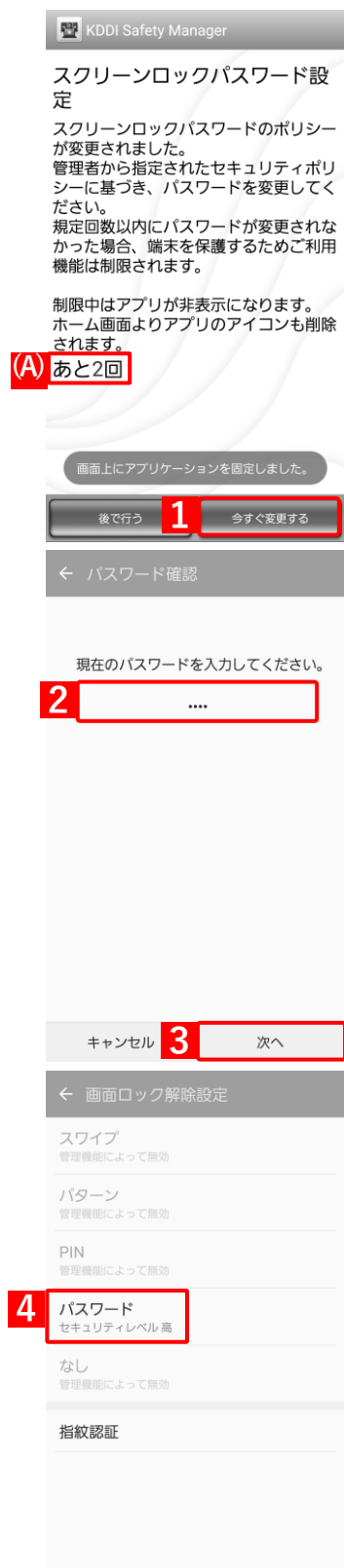
- ☑️ アプリが非表示になるまで、パスワードを変更します。パスワードポリシーを満たすパスワードを変更できるのは3回までです。
 - (A) 「あと2回」が「あと1回」、「あと0回」と数字が減っていきます。

【2】 現在のパスワードを入力します。

【3】 [次へ] をタップします。

⇒画面ロック解除設定画面が表示されます。


【4】 [パスワード] をタップします。



【5】 端末を起動するとき、パスワードで保護するか選択します。

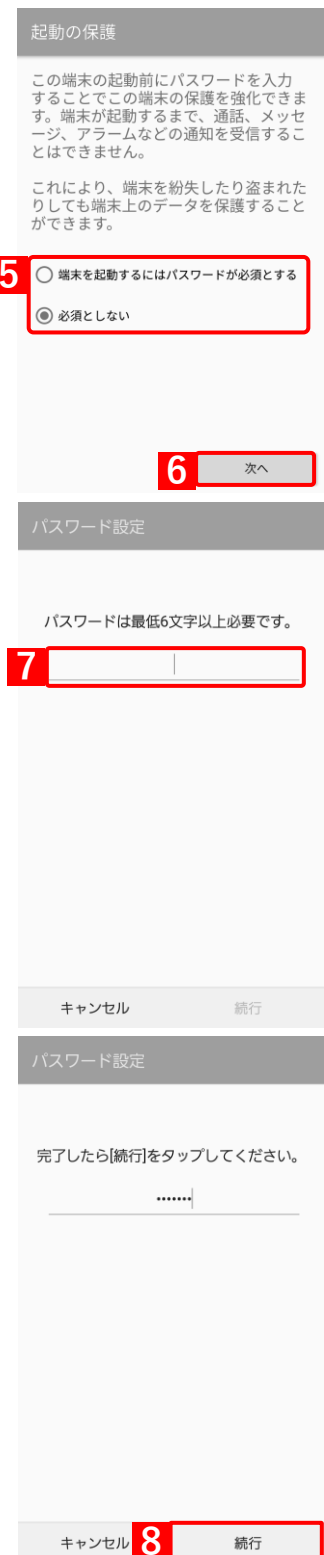
【6】 [次へ] をタップします。

【7】 新しいパスワードを入力します。

 パスワードポリシーを満たすパスワードを入力してください。

【8】 [続行] をタップします。

⇒ 確認画面が表示されます。



起動の保護

この端末の起動前にパスワードを入力することでこの端末の保護を強化できます。端末が起動するまで、通話、メッセージ、アラームなどの通知を受信することはできません。

これにより、端末を紛失したり盗まれたりしても端末上のデータを保護することができます。

5 端末を起動するにはパスワードが必須とする
 必須としない

6 次へ

パスワード設定

パスワードは最低6文字以上必要です。

7

キャンセル 続行

パスワード設定


完了したら[続行]をタップしてください。

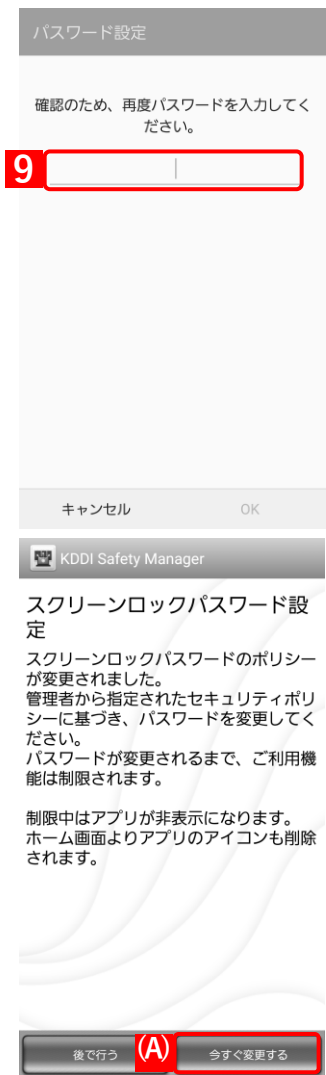
.....|

キャンセル **8** 続行

[9] 新しいパスワードを再入力します。

⇒パスワードポリシーを満たすパスワードであれば、警告画面は表示されません。

パスワードポリシーが満たされず、アプリが非表示になってしまった場合は、(A) [今すぐ変更する] をタップして、パスワードを設定しなおしてください。



◆アプリが無効になった場合

アプリが無効になってしまった場合、「スクリーンロックパスワード変更」画面を再度表示してパスワードポリシーに準じた設定を行い、アプリを再び使用できるようにします。

- 🔗 ホーム画面にショートカットを作成していた場合、アプリが一度無効化されるとショートカットも削除されます。アプリを再び使用可能にした場合でもショートカットは復元されないため、手動で作成してください。

【1】 [今すぐ変更する] をタップします。

【2】 現在のパスワードを入力します。

【3】 [次へ] をタップします。

⇒ ロック解除方法の選択画面が表示されます。

【4】 ロックの解除方法を選択します。

- 🔗 手順【5】以降は、[指紋を設定せずに続行] を選択した場合の手順です。

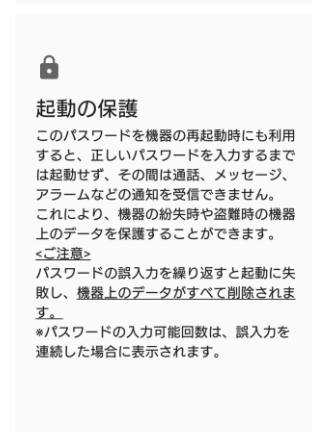


【5】 [パスワード] をタップします。



【6】 [はい] をタップします。

✎ 端末を起動するとき、パスワードで保護しない場合は、(A) [いいえ] をタップします。



【7】 新しいパスワードを入力します。

✎ パスワードポリシーを満たすパスワードを入力してください。



【8】 [次へ] をタップします。

⇒ 確認画面が表示されます。



[9] 新しいパスワードを再入力します。

⇒パスワードポリシーを満たすパスワードであれば、警告画面は表示されません。



4.2 スクリーンロックパスワードの変更通知が表示された場合

管理サイトでスクリーンロックのパスワードが変更されると、パスワードが変更されたことを通知するため、「スクリーンロックパスワード変更」画面が表示されます。通知内容を確認後、手順にしたがって操作し、画面を閉じます。

📄 スクリーンロックパスワード変更については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「一覧」－「機器の操作」－「(操作－Android) スクリーンロックパスワード変更」

[1] [OK] をタップします。

📄 新しいパスワードは管理者にお問い合わせください。



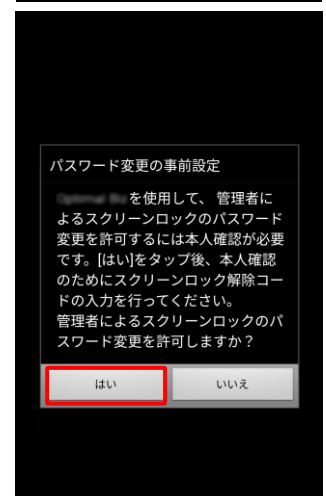
《Android 8.0 以上かつ Device Owner Mode かつスクリーンロックのパスワードがすでに何か設定されていた場合》

エージェント認証時、またはエージェントアップデート時に「パスワード変更の事前設定」を促す画面が表示されることがあります。

その場合は、[はい] をタップします。表示された画面で、本人確認を行います。生体認証を使用しないで、必ず端末に設定されているパスワード、PIN、パターンのいずれかを入力してください。完了すると、次回から表示されません。

📄 本人確認に生体認証を使用した場合は、以降、エージェントを同期したときに、「パスワード変更の事前設定」を促す画面が表示されます。

📄 「スクリーンロック解除コード」とは、画面ロックを解除するための端末で設定したパスワード、PIN またはパターンのことです。



4.3 アプリが制限されている場合

管理サイトでアプリのインストールや起動が制限されている場合について説明します。

アプリの制限方法は、3種類あります。制限方法によって、端末の動作が変わります。

🔗 「アプリケーション禁止で制限されている場合」 73 ページ

🔗 「アプリケーション非表示で制限されている場合」 75 ページ

🔗 「機能制限で制限されている場合」 76 ページ

✍️ 制限されているアプリについては、管理者にお問い合わせください。

4.3.1 アプリケーション禁止で制限されている場合

アプリケーション禁止では、アプリのインストールおよび起動の禁止が設定されます。

✍️ アプリケーション禁止については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

4.3.1.1 禁止されているアプリをインストールしようとした場合

インストールが禁止に設定されているアプリをインストールしようとした場合に表示される画面について説明します。

◆ストア版エージェント

managed Google Play ストアを表示して、禁止に設定されているアプリの [インストール] をタップすると、警告メッセージが表示されます。手順にしたがって画面を閉じてください。

✍️ アプリケーション配信については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「Android Enterprise / アプリケーション配信」

🔍 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』

[1] [OK] をタップします。



◆従来版エージェント

禁止に設定されているアプリをインストールしようとタップすると、警告画面が表示されてインストールできません。手順にしたがって画面を閉じてください。

🔍 従来版エージェントのサポートは終了しました。ストア版エージェントを利用してください。

【1】 [OK] をタップします。



4.3.1.2 禁止されているアプリを起動しようとした場合

起動を禁止に設定されているアプリをタップすると警告画面が表示され、アプリを起動できません。手順にしたがって画面を閉じてください。

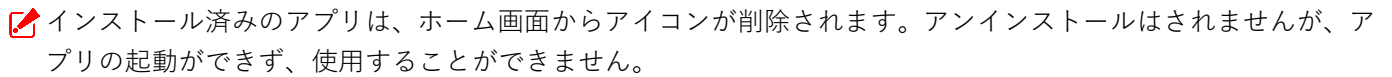
【1】 [OK] をタップします。

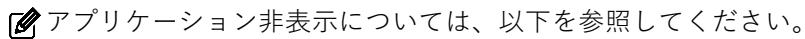



4.3.2 アプリケーション非表示で制限されている場合

アプリケーション非表示で設定されているアプリは、インストールおよび起動ができません。

managed Google Play ストアを表示して、禁止に設定されているアプリの [インストール] をタップすると、警告メッセージが表示されます。手順にしたがって画面を閉じてください。

 インストール済みのアプリは、ホーム画面からアイコンが削除されます。アンインストールはされませんが、アプリの起動ができず、使用することができません。

 アプリケーション非表示については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

[1] [OK] をタップします。





4.3.3 機能制限で制限されている場合

機能制限では、カメラの使用禁止、電話の発信先制限が設定されます。

4.3.3.1 カメラが禁止されている場合

カメラを起動すると警告画面が表示され、カメラが起動できず使用することができません。手順にしたがって画面を閉じてください。

 カメラ禁止については、以下を参照してください。


 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「セキュリティ」 - 「機能制限 / カメラ」


[1] [OK] をタップします。




4.3.3.2 発信先が制限されている場合

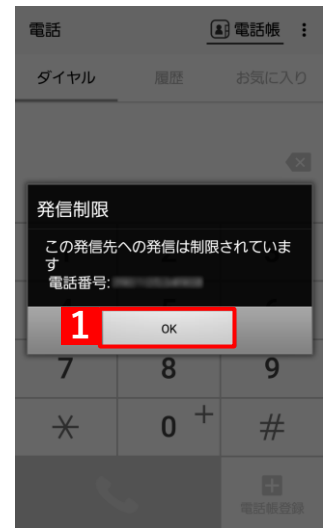
管理サイトで制限している発信先に電話をかけると、「発信制限」画面が表示され、電話をかけることができません。手順にしたがって「発信制限」画面を閉じてください。

 発信先制限については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「セキュリティ」 - 「機能制限 / 発信先制限」

 制限している発信先については、管理者にお問い合わせください。

【1】 [OK] をタップします。



4.4 アプリが配信された場合（従来版エージェント）

管理サイトからアプリが配信された場合、以下の2通りあります。どちらかを選択してインストールします。

● アプリをダウンロードしている場合

● アプリをダウンロードしていない場合

☑ 本機能は、従来版のみ対応していますが、従来版のサポートは終了しました。

✎ アプリケーション配信については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「アプリケーション」—「アプリケーション配信」

✎ ストア版エージェントでアプリを配信する場合は、以下を参照してください。

🔍 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』

4.4.1 アプリをダウンロードしていない場合

【1】 [OK] をタップします。

✎ 管理サイトでアプリケーション配信の配信通知の表示が設定されていない場合は、表示されません。

【2】 画面を上から下へスライドします。

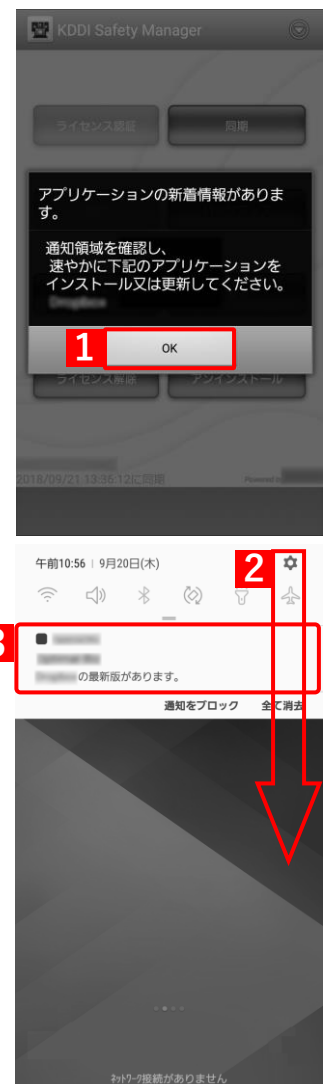
⇒ ダウンロード通知画面を表示させます。

✎ Android 3.x の端末は右下の通知をタップしてください。

【3】 アプリをタップします。


⇒ アプリのインストールまたは更新を行います。

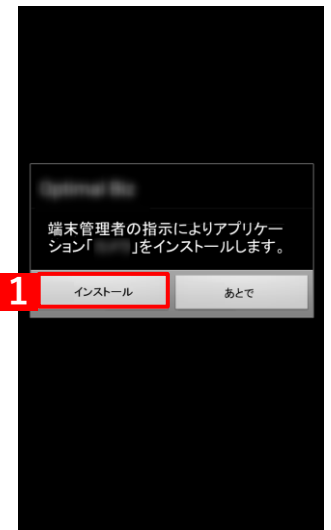
☑ 必要な権限が設定されていない場合、メッセージが表示されますので、画面に従って権限を付与してください。



4.4.2 アプリをダウンロードしている場合

【1】 [インストール] をタップします。

 あとでインストールする場合は、[あとで]をタップします。



4.5 管理サイトから暗号化設定を促された場合（Android 6 未満）

管理サイトから端末に標準搭載されている暗号化設定を促す指示が行われると「暗号化設定」画面が表示されます。手順にしたがって暗号化設定を行ってください。

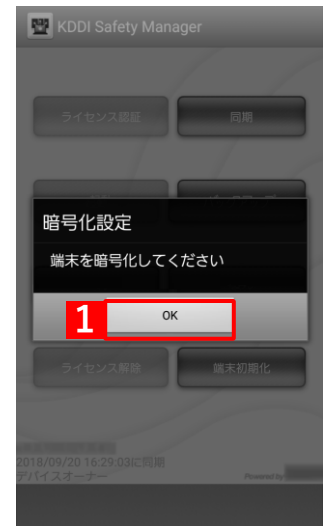
✔ Android 6.0 以上の端末は、デフォルトで暗号化されます。

✔ メーカー独自の暗号化設定は非対象です。

✎ 暗号化については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「セキュリティ」—「暗号化」

【1】 [OK] をタップすると暗号化設定画面が表示されますので、暗号化設定を行ってください。



4.6 管理外通知画面が表示された場合

エージェントのアップデートを行い、端末を管理するための設定が不足している場合に「管理外通知」画面が表示されます。また、画面ロックの機能制限を利用する場合は、エージェントにデバイス管理者の権限が必要です。

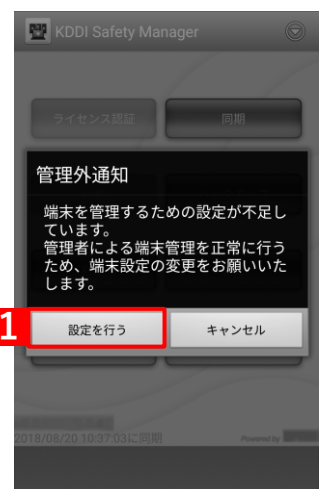
手順にしたがって設定を行い、デバイス管理者の権限をエージェントに付与してください。

☑ 管理外通知画面は、以下の契機で表示されます。

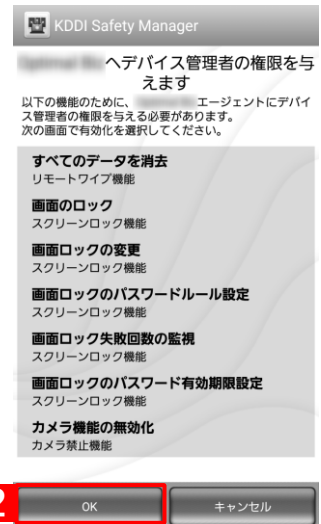
- ストア版エージェント
エージェントをバージョン 9.7.0 以上にアップデートし、エージェントを起動したときに表示されます。新規インストール時は表示されません。
- 従来版エージェント
端末上で「デバイス管理者権限」を無効化したあと、エージェントを起動したときに表示されます。

☑ 従来版はサポート終了しました。ストア版をご利用ください。

【1】 「設定を行う」をタップします。



【2】 [OK] をタップします。



【3】 [有効にする] をタップします。




4.7 ロック画面が表示された場合

リモートロック、スクリーンロック別の解除方法や、ロック時に緊急通報を行う方法について説明します。

リモートロックの解除は、管理サイトの [リモートロック] で、「解除方法」を [リモートロックの解除コード] に設定している場合、スクリーンロックの解除は、「解除方法」を [スクリーンロックパスワード] に設定している場合の手順を記載しています。

詳細については、以下を参照してください。



 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「一覧」－「機器の操作」－「(操作－Android) リモートロック」

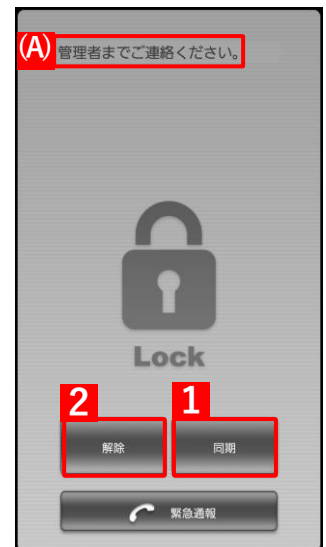
4.7.1 リモートロックの解除コードで解除する場合

リモートロックは管理サイトから端末に指令して端末をロックする機能です。

ここではリモートロックが行われた場合の状態別の解除方法と、ロック中に緊急通報を行う場合の手順について説明します。

4.7.1.1 管理サイトからロックされた場合

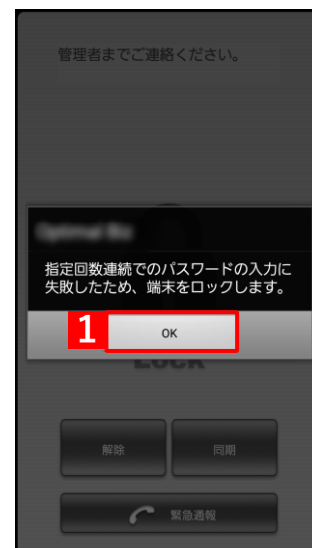
- 【1】** 管理者に連絡し、管理サイトよりリモートロックを解除します。すぐにリモートロックが解除されない場合は、[同期] をタップします。
 - 【2】** [解除] をタップし、解除コードを入力することで、ロックを解除できますが、管理サイトの設定によっては Android 端末がスリープした場合や同期した場合に、再度ロックがかかることもあります。
-  (A) には管理者が管理サイトで設定したメッセージが表示されます。
-  解除コードは管理者にお問い合わせください。



4.7.1.2 スクリーンロック解除失敗によりロックされた場合

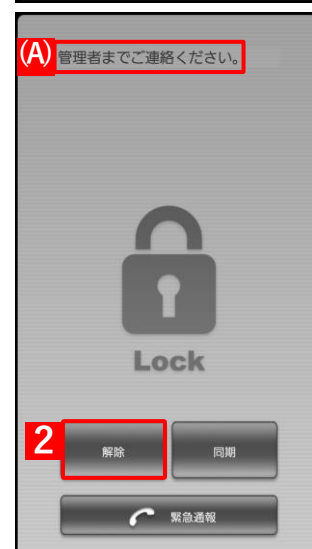
【1】 [OK] をタップします。

- ✍️ スクリーンロック解除失敗回数は管理サイトでの設定により異なります。スクリーンロック解除失敗によりロックがかかった場合、ロック解除後は、端末標準のスクリーンロック画面が表示されますので、解除してください。この際、間違えてしまうと、再度ロックがかかりますのでご注意ください。



【2】 [解除] をタップし、解除コードを入力します。

- ✍️ (A) には管理者が管理サイトで設定したメッセージが表示されます。
- ✍️ 解除コードは管理者にお問い合わせください。

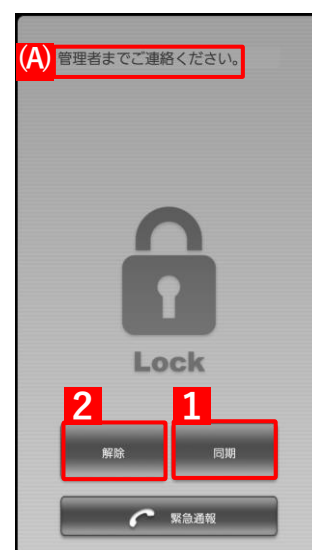


4.7.1.3 一定時間通信が行われずロックされてしまった場合

【1】 通信できる場所に移動して、[同期] をタップします。

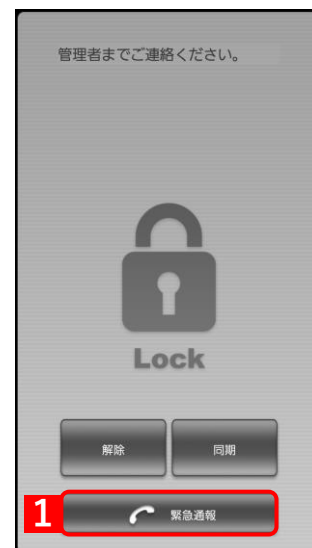
【2】 [同期] をタップしても解除できない場合は、[解除] をタップし、解除コードを入力することで、ロックを解除できます。

- ✍️ (A) には管理者が管理サイトで設定したメッセージが表示されます。
- ✍️ 解除コードは管理者にお問い合わせください。



4.7.1.4 緊急通報をする場合

- 【1】** 「緊急通報」をタップすると、110、119などの緊急通報ができます。




4.7.2 スクリーンロック解除失敗によりロックされた場合


スクリーンロックはAndroid端末に標準装備されているロック機能です。

ここではスクリーンロックが行われた場合の解除方法と、ロック中に緊急通報を行う場合の手順について説明します。

 標準装備のスクリーンロックに制限を追加したい場合は、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「セキュリティ」—「画面ロック」

- 【1】** Android 標準のスクリーンロックが表示されます。画面をタップします。

 パスワードが設定されていない場合のロック解除方法は、ご使用の端末の画面の表示どおりに行ってください。



【2】パスワードを入力します。

✎ (A) [緊急通報] をタップすると、110、119 などの緊急通報ができます。



4.8 Secure Shield が有効に設定された場合

+Setting Safety Manager とは、端末の設定アプリを制御して利用範囲を制限し、端末を管理外としてしまう設定を除外する機能です。管理サイトで Secure Shield が有効に設定されていると、端末の設定画面は表示されず、「+Setting Safety Manager」画面が表示されます。「+Setting Safety Manager」画面には、リスト表示とシンプル表示があり、メニューで切り替えることができます。

✎ 本機能は、管理サイトで Secure Shield を有効にしている場合のみ使用できます。詳細については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「セキュリティ」—「Secure Shield」

✎ +Setting Safety Manager の対応機種については、以下を参照してください。

🔍 『Android エージェント Secure Shield 動作状況』

[1] 端末の設定画面を開くと、+Setting Safety Manager 画面が表示されます。設定したい項目をタップし、設定を行います。

✎ 端末により、設定項目が一部表示されない場合がございます。

✎ 本画面の項目タップ後は、端末既存の設定画面に移行します。設定方法は端末ごとに異なりますので、端末に付属しているマニュアルを参照してください。

《リスト表示》

✎ 端末のメニューボタンで、表示切替メニュー [シンプル表示] が表示されます。タップするとシンプル表示になります。



《シンプル表示》

✎ 端末のメニューボタンで、表示切替メニュー [リスト表示] が表示されます。タップするとリスト表示になります。



4.9 CA 証明書がサイレントインストールされた場合

CA 証明書がサイレントインストールされると、Android 端末の通知バー上に AndroidSystem からの通知が表示されます。手順にしたがって画面を閉じます。

✂ Android 端末の仕様により、表示されない場合もあります。

✍ CA 証明書は、管理サイトから配信されます。詳細については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「証明書管理」—「CA 証明書管理」


[1] [キャンセル] をタップします。



5 関連アプリの使用方法

この章では、本製品の関連アプリの使用方法について説明します。

 「+ browser Safety Manager」 90 ページ

 「ウイルス対策機能」 101 ページ

5.1 + browser Safety Manager

オプション


+ browser Safety Manager のインストール方法や各画面の説明、アンインストール方法について説明します。





+ browser Safety Manager とは、弊社が提供しているブラウザで、ブックマーク追加、お気に入り設定、セキュリティ設定など、標準ブラウザと同等の機能があります。端末に標準装備されているブラウザとは別にインストールします。

Android 端末に搭載されている標準ブラウザでは、管理サイトの Web フィルタリングで禁止しているページでも、シークレットモードを使用すると閲覧が可能です。




管理サイトのアプリケーション禁止機能で、使用するブラウザを + browser Safety Manager のみに制限することで、シークレットモードのブラウザ閲覧のような、Web フィルタリングの抜け道をなくすことができます。

アプリケーション禁止については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「アプリケーション」—「アプリケーション禁止」

-  + browser Safety Manager はオプション機能（追加機能）のため、別途契約が必要です。
-  + browser Safety Manager は、証明書認証の機能には対応していません。
-  + browser Safety Manager は、他のサーバーを経由するアプリ（オンライン会議用アプリなど）の利用はできません。
-  + browser Safety Manager で PDF ファイルは表示できません。別途、PDF ファイルを表示や印刷などができるアプリをインストールしてください。

5.1.1 + browser Safety Manager の動作環境

対象 OS	Android 11~14  従来版エージェントのサポートは終了しました。  詳細については以下を参照してください。  『Android 対応端末表』
-------	---

5.1.2 +browser Safety Manager をインストールする

managed Google Play ストアから +browser Safety Manager をインストールする手順について説明します。

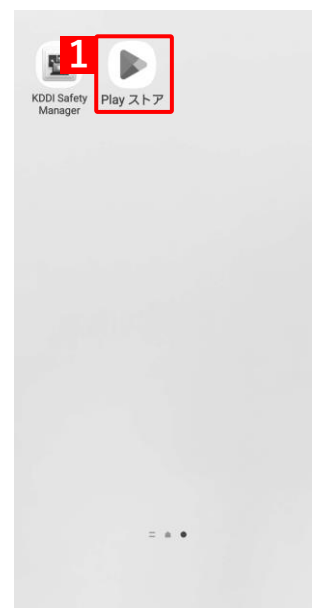
✏️ [アプリケーション配信] の「配信アプリ」で選択する項目により、インストール手順が異なります。[アプリケーション配信] の「配信アプリ」については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「アプリケーション」—「Android Enterprise/アプリケーション配信」

✏️ ホーム画面に [+browser Safety Manager] アイコンが表示されている場合は、管理サイトから +browser Safety Manager がサイレントインストールされています。インストールを行う必要はありません。

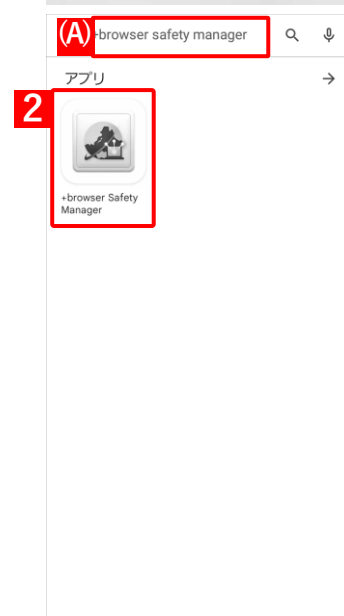
【1】 [Playストア] をタップします。

⇒ managed Google Play ストアが表示されます。



【2】 [+browser Safety Manager] をタップします。

✏️ 表示されていない場合は、(A) 検索に「+browser Safety Manager」と入力してください。



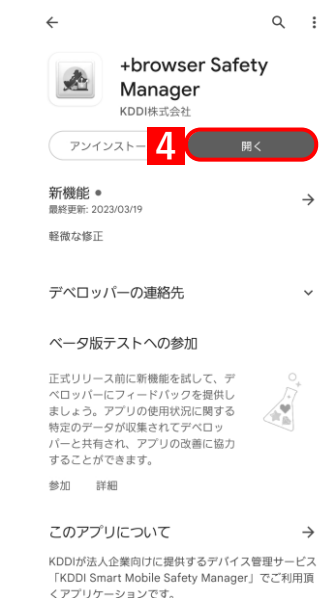
【3】 [インストール] をタップします。

📄インストールが完了すると、ホーム画面に [+browser Safety Manager] のアイコンが表示されます。



【4】 [開く] をタップします。

⇒ ユーザーデータ確認画面が表示されます。



【5】 ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。

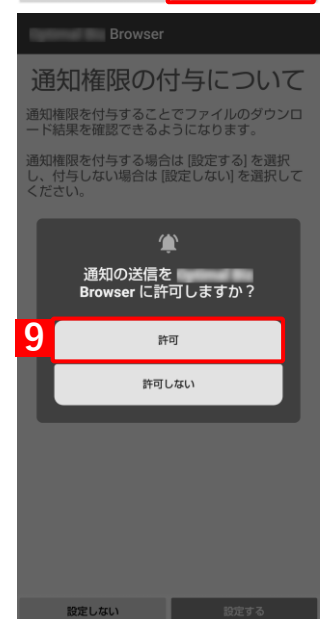
⇒ プライバシーポリシー同意画面が表示されます。



- 【6】** 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。
- 【7】** [OK] をタップします。
- ⇒ 通知権限の付与画面が表示されます。

- 【8】** [設定する] をタップします。
- 📄通知を許可しない場合は、[設定しない] をタップします。

- 【9】** [許可] をタップします。



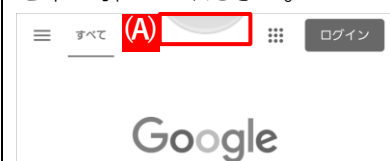
5.1.3 メイン画面の表示内容

ホーム画面で「+browser Safety Manager」アイコンをタップすると、メイン画面が表示されます。

🔗 エージェントの状態により無効になっているボタンがあります。

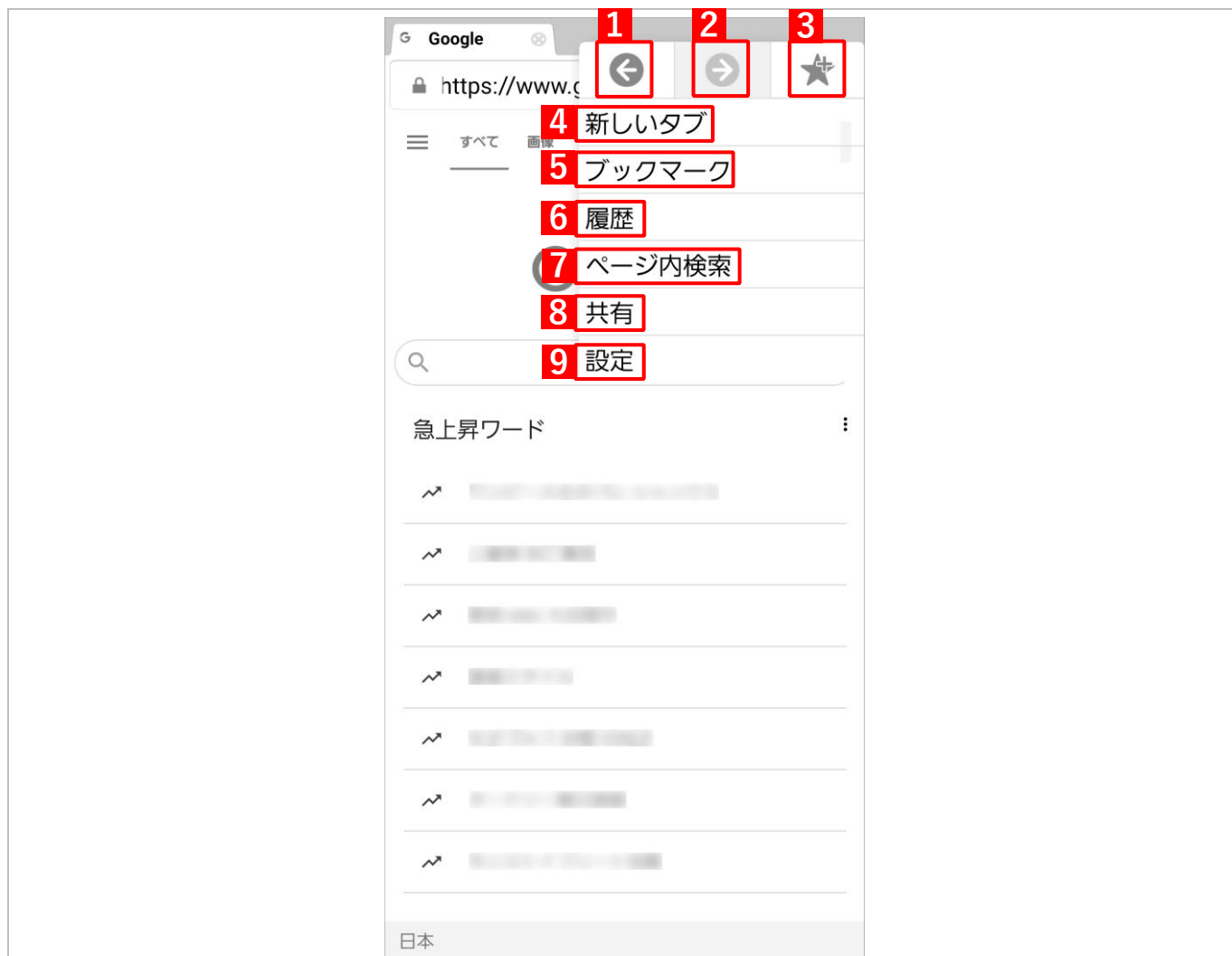


項番	名称	説明
1	アドレスバー	閲覧しているページの URL が表示されます。
2	[更新]	閲覧しているページの更新をする際にタップします。
3	[メニュー]	メニュー画面を表示する際にタップします。メニュー画面の詳細は、以下を参照してください。 🔗 「メニュー画面の表示内容」 95 ページ
4	[拡大] / [縮小]	メイン画面の拡大 / 縮小を切り替える場合にタップします。メイン画面の拡大表示時はアドレスバーが非表示になります。アドレスバーを表示する場合は、画面上部の (A) を下に引いてください。



5.1.4 メニュー画面の表示内容

メイン画面で [メニュー] をタップすると、メニュー画面が表示されます。

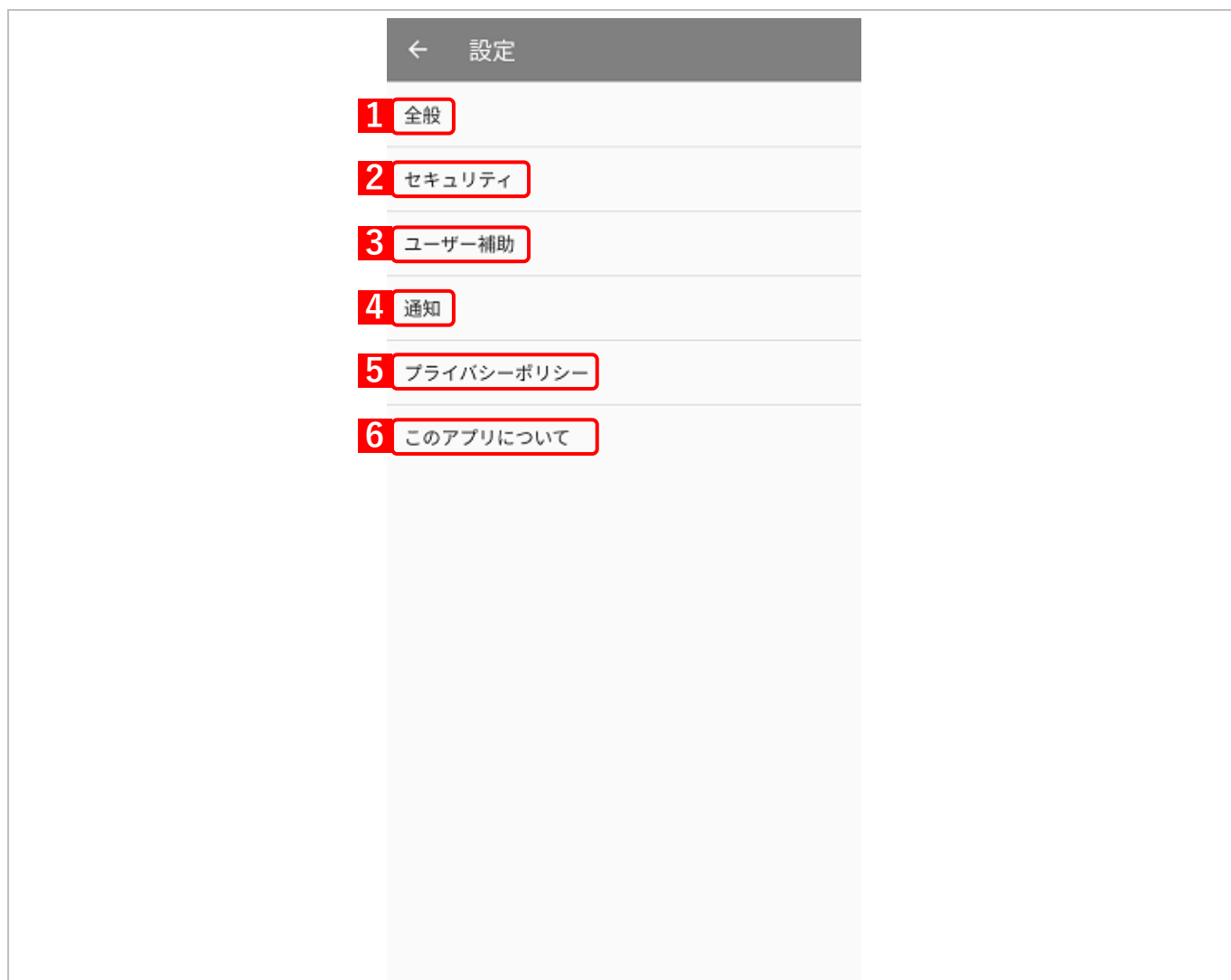


項番	名称	説明
1	[前のページへ戻る]	前のページへ戻ります。
2	[次のページへ進む]	次のページへ進む
3	[ブックマークに追加]	現在閲覧しているページをブックマークに登録します。
4	[新しいタブ]	現在閲覧しているページの右側に、新しいタブが追加されます。
5	[ブックマーク]	現在登録されているブックマークの確認やフォルダーの作成、編集、削除などが行えます。
6	[履歴]	ブラウザの閲覧履歴を確認できます。
7	[ページ内検索]	現在閲覧しているページ内での文言検索を行います。
8	[共有]	現在閲覧しているページの URL をメールやメモなどに添付できます。
9	[設定]	ブラウザのセキュリティなどの設定を行います。設定画面の詳細については、以下を参照してください。 🔗 「設定画面の表示内容」 96 ページ

5.1.5 設定画面の表示内容

メニュー画面で「設定」をタップすると、「設定」画面が表示されます。

+browser Safety Manager の各種の設定を行います。




項番	名称	説明
1	全般	以下の設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ●ホームの設定： ホームページの設定を変更します。 ●ステータスバーの表示： ステータスバーの表示／非表示の切り替えを行います。
2	セキュリティ	以下の設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ●Cookie の許可： Cookie の許可の有効／無効を切り替えます。 ●位置情報を有効にする： 位置情報の有効／無効を切り替えます。 ●JavaScript を有効にする： JavaScript の有効／無効を切り替えます。 ●データの削除： Cookie、キャッシュ、位置情報のデータを削除します。削除対象を選択できます。

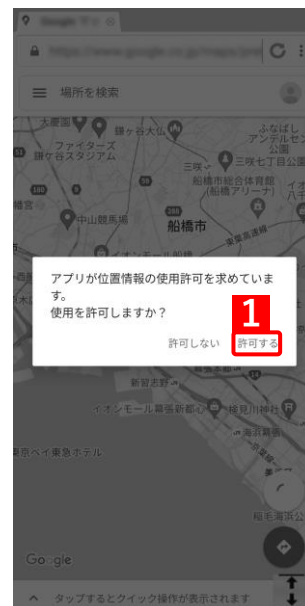
項番	名称	説明
3	ユーザー補助	以下の設定を行います。 ●テキストの大きさ： ブラウザのテキストの大きさを設定します。最小、小、中、大、最大から選択します。 ●ズームの倍率： Web ページをブラウザ上で表示する際のズームの倍率を設定します。小、中、大から選択します。
4	通知	+ browser Safety Manager の通知権限設定画面が表示されます。
5	プライバシーポリシー	+ browser Safety Manager のプライバシーポリシーが表示されます。
6	このアプリについて	+ browser Safety Manager のバージョン情報が表示されます。

5.1.6 位置情報アクセスを許可する


+ browser Safety Manager で地図などを表示し、現在地情報を要求したとき、位置情報アクセス許可の要求画面が表示されます。位置情報の取得を「許可」に設定してください。

 位置情報を取得するには、デバイスの位置情報の取得を許可する必要があります。端末の設定アプリで「位置情報」を ON にしてください。

【1】 「許可する」をタップします。



【2】 「アプリの使用時のみ」もしくは「今回のみ」をタップします。

 「許可しない」をタップすると、位置情報は取得されません。



5.1.7 +browser Safety Manager をアンインストールする

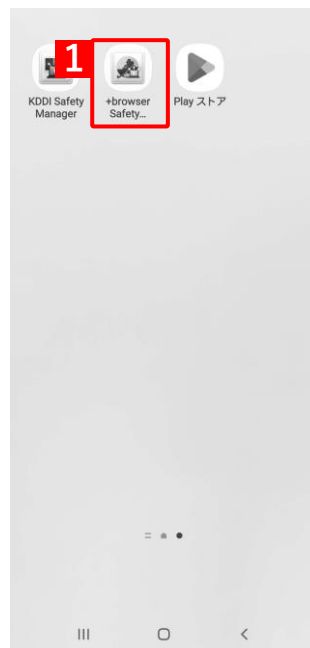
+browser Safety Manager をアンインストールする手順について説明します。

✂ [アプリケーション配信] の「配信アプリ」で選択する項目により、インストール手順が異なります。[アプリケーション配信] の「配信アプリ」については、以下を参照してください。

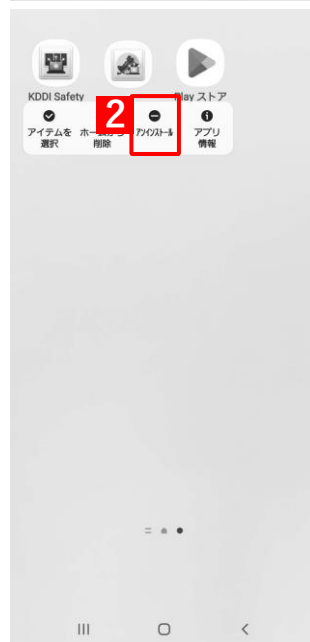
🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「アプリケーション」—「Android Enterprise/アプリケーション配信」

✍ 従来版エージェントの場合は、端末の [設定] からアンインストールを行ってください。従来版エージェントのサポートは終了しました。ストア版エージェントを利用してください。

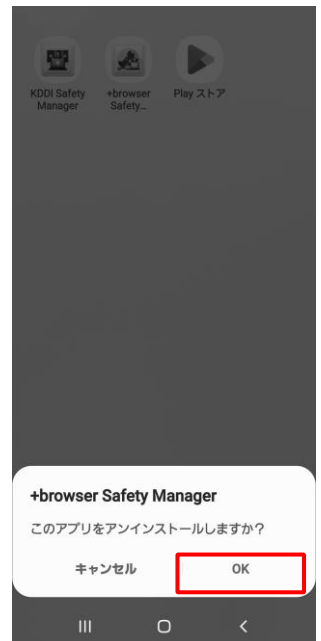
【1】 [+browser Safety Manager] を長押しします。



【2】 [アンインストール] をタップします。



[3] [OK] をタップします。








5.2 ウイルス対策機能

オプション

Safety Manager AntiVirus について説明します。Safety Manager AntiVirus は、ウイルス対策アプリです。Android 端末内の不正アプリ（有害なプログラム）を検索して削除します。ウイルススキャンのスケジュールやアップデートなど、Safety Manager AntiVirus の設定は管理サイトで行います。

Safety Manager AntiVirus の設定については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「セキュリティ」—「ウイルス対策機能」

-  Safety Manager AntiVirus はオプション機能（追加機能）のため、別途契約が必要です。
-  パターンファイルの更新やスキャンの実施を行うには、インターネットの接続が必要です。インターネットに接続されていないと、本機能は使用できません。
-  Android 端末にトレンドマイクロ社製のウイルス対策ソフトがインストールされている場合は、それをアンインストールする必要があります。
-  Safety Manager AntiVirus では、インストール済みアプリのウイルススキャンを行うことができます。内蔵ストレージや SD カードに保存されているファイルのウイルススキャン、および削除を行うには以下の権限を有効にしてください。

Safety Manager AntiVirus のバージョンや Android OS バージョンによって、権限を有効にする手順が異なります。以下の手順で設定してください。


- Safety Manager AntiVirus バージョン 2.5.4.1007 未満の場合




Android 11 以下	[設定] → [アプリ] → [Safety Manager AntiVirus] → [権限] → [ストレージ]
Android 12 以上	利用不可

- Safety Manager AntiVirus バージョン 2.5.4.1007 以上の場合

Android 10 以下	[設定] → [アプリ] → [Safety Manager AntiVirus] → [権限] → [ストレージ]
Android 11~12	[設定] → [アプリ] → [Safety Manager AntiVirus] → [権限] → [ファイルとメディア] → [すべてのファイルの管理を許可]
Android 13 以上	[設定] → [アプリ] → [特別なアプリアクセス] → [すべてのファイルへのアクセス] → [Safety Manager AntiVirus] → [全ファイルの管理権を付与]


- Android 11 以上で、Safety Manager AntiVirus のバージョン 2.5.4.1007 未満から 2.5.4.1007 以上にアップデートした場合は、権限の設定が変更されるため、必ず権限を有効にしてください。
- アプリケーション禁止で、設定アプリが制限されている場合は、権限設定画面が表示されません。

 「禁止されているアプリを」73 ページ

-  Android 6.0 以上の端末では、端末の設定で Safety Manager AntiVirus を「電池の最適化をしていないアプリ」に設定していないと、スキャンやアップデートが時間どおりに実行されないことがあります。
-  リアルタイムスキャンで不正アプリが検知された場合に、ポップアップ画面を表示することができます。ポップアップ画面を表示するには、以下のいずれかの手順で設定してください。
 - [設定] → [アプリ] → [Safety Manager AntiVirus] → [他のアプリの上に重ねて表示できるようにする] を許可にする
 - 通知から [権限を許可してください] をタップし、[他のアプリの上に重ねて表示できるようにする] を許可にする
-  Android 13 以上の端末では、アプリを新規インストールした場合、通知権限がオフの状態です。以下の手順で通知権限を有効にしてください。
 - [設定] → [アプリ] → [Safety Manager AntiVirus] → [通知] → [Safety Manager AntiVirus のすべての通知] を許可にする

- Android 13 以上の端末で Safety Manager AntiVirus のバージョンが 2.5.5.1016 以上の場合、通知権限が許可されていないと 1 週間経過するごとに通知権限を要求するポップアップ画面が表示されます。[設定画面を開く] をタップして、通知を有効にしてください。ただし、このポップアップ画面を表示するためには [他のアプリの上に重ねて表示できるようにする] を許可に設定する必要があります。


5.2.1 ウイルス対策機能の動作環境

プラットフォーム	Android プラットフォーム
対象 OS	Android 11~14 <input checked="" type="checkbox"/> 従来版エージェントのサポートは終了しました。 <input checked="" type="checkbox"/> 詳細については以下を参照してください。  『Android 対応端末表』
空き容量	7.5MB 以上の空き容量
メモリ	9MB 以上のメモリ (スマートフォンの場合)、16MB 以上のメモリ (タブレットの場合)
必要な環境	インターネット接続

5.2.2 Safety Manager AntiVirus をインストールする

managed Google Play ストアから Safety Manager AntiVirus をインストールする手順について説明します。

- [アプリケーション配信] の「配信アプリ」で選択する項目により、インストール手順が異なります。[アプリケーション配信] の「配信アプリ」については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「アプリケーション」—「Android Enterprise/アプリケーション配信」

- ホーム画面に [Safety Manager AntiVirus] アイコンが表示されている場合は、管理サイトから Safety Manager AntiVirus がサイレントインストールされています。インストールを行う必要はありません。

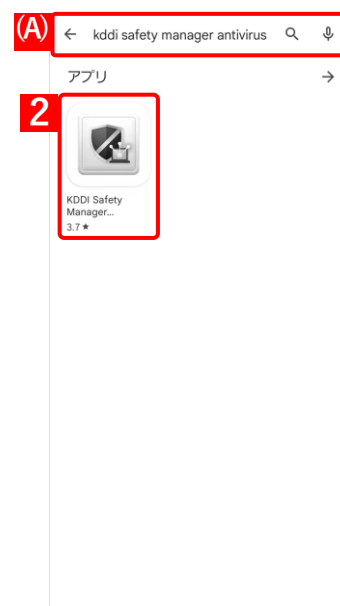
【1】 [Play ストア] をタップします。

⇒ managed Google Play ストアが表示されます。



【2】 [KDDI Safety Manager AntiVirus] をタップします。

✎表示されていない場合は、(A) 検索に「KDDI Safety Manager AntiVirus」と入力してください。



【3】 [インストール] をタップします。

⇒インストールが完了すると、ホーム画面に [Safety Manager AntiVirus] アイコンが表示されます。



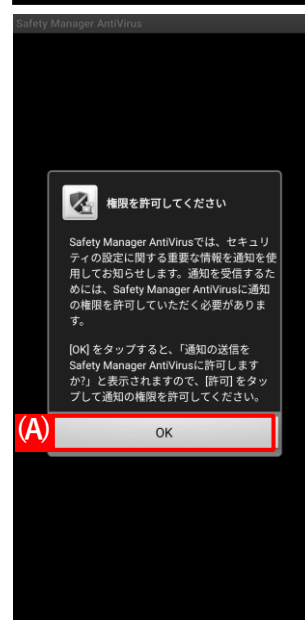
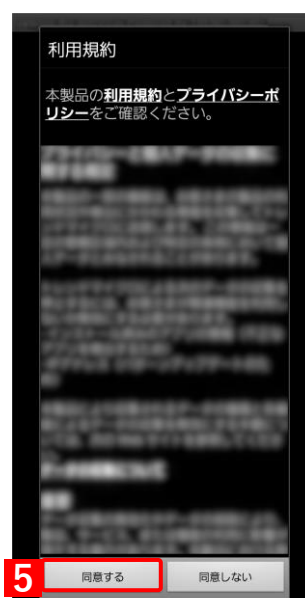
【4】 [開く] をタップします。

⇒利用規約とプライバシーポリシーの同意画面が表示されます。



- 【5】** 利用規約とプライバシーポリシーを確認して、**[同意する]** をタップします。

- ✎ Android 13 以上の端末で Safety Manager AntiVirus を新規でインストールすると、通知権限がオフの設定となるため、Safety Manager AntiVirus の通知が表示されません。
- ✎ Android 13 で Safety Manager AntiVirus のバージョンが 2.5.5.1016 未満の場合、初回起動時に権限ダイアログが表示されます。(B) [許可] をタップします。
- ✎ Android 13 で Safety Manager AntiVirus のバージョンが 2.5.5.1016 以上の場合、利用規約とプライバシーポリシーの確認画面で [同意する] をタップすると、通知権限の許可を要求する画面が表示されます。(A) [OK] をタップすると、権限ダイアログが表示されます。(B) [許可] をタップします。



5.2.3 メイン画面を表示する


【1】 [Safety Manager AntiVirus] をタップします。




⇒ Safety Manager AntiVirus メイン画面が表示されます。


5.2.4 オプション画面を表示する

検索とアップデートに関する設定の確認と、検索やアップデートを行った履歴を表示します。


 検索やアップデートの設定変更は管理サイトで行います。

【1】メイン画面を表示します。

 メイン画面表示方法は、以下を参照してください。

 「メイン画面を表示する」105 ページ

【2】[不正アプリ対策] をタップします。

 一度もセキュリティチェックを行っていない場合は、アプリのセキュリティチェックを行うかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

【3】[オプション] をタップします。

⇒ オプション画面が表示されます。



- ✎ 検索画面を表示する場合は、(A) [検索] をタップします。(B) [検索開始] をタップすると、検索が行われます。詳細は以下を参照してください。

🔒 「手動で検索（不正アプリのスキャン）する」108 ページ



- ✎ アップデート画面を表示する場合は、(C) [アップデート] をタップします。(D) [アップデート] をタップすると、アップデートが行われます。詳細は下を参照してください。

🔒 「手動でパターンファイルをアップデートする」110 ページ



- ✎ 履歴画面を表示する場合は、(E) [履歴] をタップします。(F) [検索履歴] をタップすると、検索履歴が表示されます。(G) [アップデート履歴] をタップすると、アップデート履歴が表示されます。



5.2.5 手動で検索（不正アプリのスキャン）する

検索（不正アプリのスキャン）は定期的に行われますが、ここでは、Android 端末から任意のタイミングで検索する手順について説明します。

【1】メイン画面を表示します。

✎メイン画面表示方法は、以下を参照してください。

📄「メイン画面を表示する」105 ページ

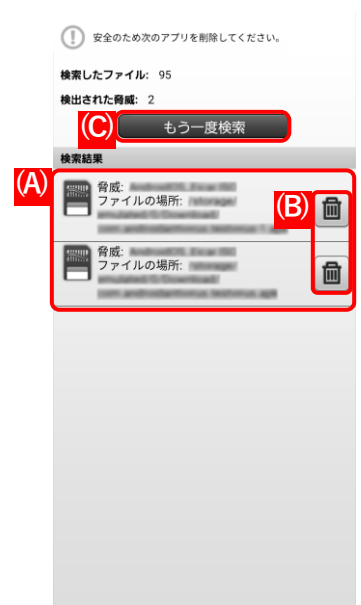
【2】 [不正アプリ対策] をタップします。

【3】 [検索開始] をタップします。

⇒ 検索が完了すると、検索結果が表示されます。



- ❏ 不正アプリがあった場合は、(A) 「不正アプリ一覧」が表示されます。不正アプリは、(B) [ゴミ箱] をタップして削除してください。
- ❏ ファイルは削除されます。アプリは、アンインストール画面が表示されるので、画面に従いアンインストールしてください。
- ❏ 再度、検索を行う場合は、(C) [もう一度検索] をタップします。



5.2.6 手動でパターンファイルをアップデートする

パターンファイルのアップデートは定期的に行われますが、ここでは、Android 端末から任意のタイミングでアップデートを行う手順について説明します。

【1】メイン画面を表示します。

✎メイン画面表示方法は、以下を参照してください。

🔗「メイン画面を表示する」105 ページ

【2】 [不正アプリ対策] をタップします。

【3】 [アップデート] をタップします。

✎アップデートが必要ない場合は、その旨のメッセージが表示されません。



5.2.7 ログを収集して送付する

Safety Manager AntiVirus が正常に作動しない場合やトレンドマイクロ社に問題を報告する場合に、本機能を使用してトレンドマイクロ社のサーバーにログを送付します。

【1】 メイン画面を表示します。

✎ メイン画面表示方法は、以下を参照してください。

👉 「メイン画面を表示する」105 ページ

【2】 [:] をタップします。

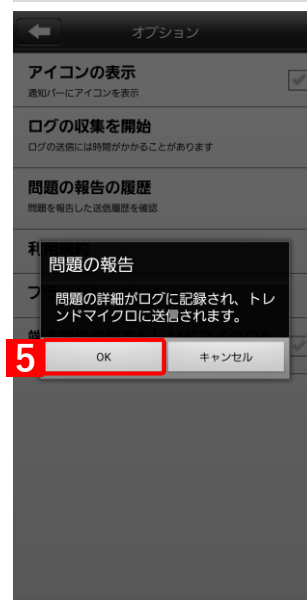
【3】 [設定] をタップします。



【4】 [ログの収集を開始] をタップします。



【5】 [OK] をタップします。



5.2.8 端末情報の送信を停止する

トレンドマイクロ社への端末情報の送信を停止します。

脅威情報の収集のために初期設定では端末情報を送信する設定となっておりますが、送信される端末情報に個人情報や機密情報などが含まれる可能性があるため、送信を希望しない場合は停止することができます。

送信を停止しても Safety Manager AntiVirus の動作に影響ありません。

【1】 メイン画面を表示します。

✎ メイン画面表示方法は、以下を参照してください。


👉 「メイン画面を表示する」 105 ページ

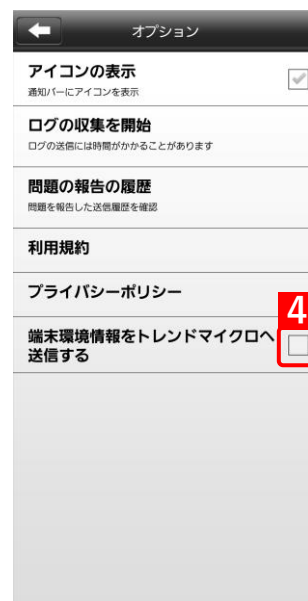
【2】 [⋮] をタップします。

【3】 [設定] をタップします。



【4】 「端末環境情報をトレンドマイクロへ送信する」のチェックを外
します。

 初期値はチェックが入っています。



5.2.9 Safety Manager AntiVirus をアンインストールする

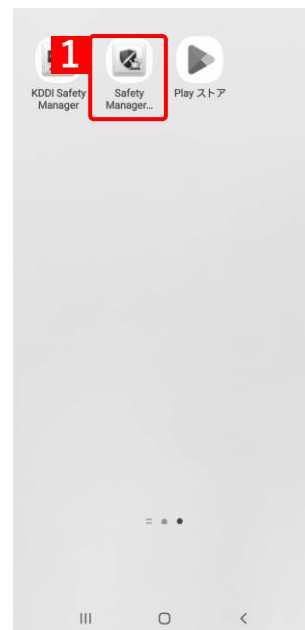
Safety Manager AntiVirus をアンインストールする手順について説明します。

✂ [アプリケーション配信] の「配信アプリ」で選択する項目により、インストール手順が異なります。[アプリケーション配信] の「配信アプリ」については、以下を参照してください。

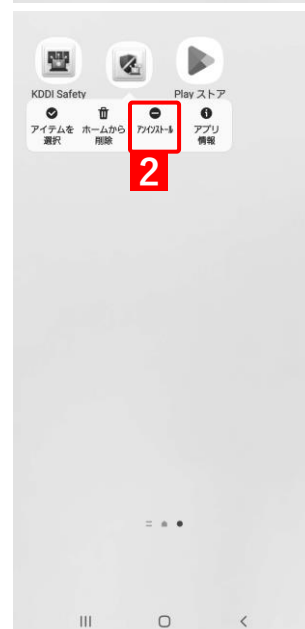
🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「アプリケーション」—「Android Enterprise/アプリケーション配信」

✍ 従来版エージェントの場合は、端末の [設定] からアンインストールを行ってください。従来版エージェントのサポートは終了しました。ストア版エージェントを利用してください。

【1】 [Safety Manager AntiVirus] を長押しします。



【2】 [アンインストール] をタップします。



[3] [OK] をタップします。





6 こんなときは

この章では、管理サイトと同期できない時の端末の状態や設定の確認方法について説明します。




6.1 同期できないときは

端末が以下の状態、または設定になっているか確認してください。

 OS バージョンや端末により、表示項目や手順が異なる場合があります。

 正しい状態、設定になっていても同期できない場合は、認証情報修復を行ってください。詳細は、以下を参照してください。

 「認証情報を修復する」61 ページ

- 端末の電源がオンになっている
- 有効な SIM によるモバイル通信もしくは有効な Wi-Fi アクセスポイントに接続されている
- 圏外および電波が届かない状態で利用していない
- 省電力モード（エコモード）が OFF になっている
確認方法：端末の [設定] → [電池] → [エコモード]
回避方法：省電力モード（エコモード）を OFF にする
- バックグラウンド通信を制限していない
確認方法：端末の [設定] → [アプリと通知] → [アプリ情報] → [KDDI Safety Manager] → [データ使用量]
回避方法：[バックグラウンド データ] を ON にする
- データセーバーが OFF になっている
確認方法：端末の [設定] → [ネットワークとインターネット] → [データ使用量]
回避方法：[データセーバー] を OFF にする
- 電池の消費を抑えるアプリがない
確認方法：端末のホーム画面→アプリ一覧
回避方法：電池を制限するアプリを使用しない、アプリ内の設定で MDM を制限しないよう設定する
- エージェントが起動状態にある
確認方法：端末のホーム画面→アプリ一覧→ [KDDI Safety Manager]
回避方法：[起動] ボタンをタップし起動する
 「起動」が非活性の状態であれば起動済みです。
- エージェントが認証状態にある
確認方法：端末のホーム画面→アプリ一覧→ [KDDI Safety Manager]
回避方法：[ライセンス認証] ボタンをタップし認証する
 「ライセンス認証」が非活性の状態であれば認証済みです。
 企業コード、認証コードは管理者にお問い合わせください。
- 機内モードが OFF になっている
確認方法：端末の [設定] → [ネットワークとインターネット] → [機内モード]
回避方法：[機内モード] を OFF にする
- 帯域制限を使用している場合、通信要件を満たしている
確認方法：ネットワーク管理者にお問い合わせください
回避方法：制限しているサービスの設定で、MDM の通信要件を満たすようポートを許可する